

# KENWOOD

MP3/WMA/AAC対応CDレシーバー

**I-K70**  
**I-K70V**

## 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation

### ご使用前に

ご使用になる前にデモンストレーションモードを解除する必要があります。

詳しくは「デモンストレーション設定」(p47)をご覧ください。



# 目次

この取扱説明書の読みかたや、全般的な注意事項が書いてあります。最初に一読してください。

<b>安全上のご注意</b>	<b>4</b>
<b>使用上のご注意</b>	<b>6</b>
<b>本書の読みかた</b>	<b>8</b>

ここを読めば、ひととおり操作できます。

<b>基本操作</b>	<b>10</b>
共通操作	10
ラジオを聴く	13
ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く	14

各機能の設定はここから始まりますので、ご覧ください。

<b>ファンクションコントロール</b>	<b>16</b>
----------------------	-----------

本機のいろいろな設定や調整方法が書いてあります。

<b>ディスプレイコントロール</b>	<b>27</b>
ディスプレイタイプ設定	27
テキスト表示設定	27
テキスト表示	28
イルミネーション色設定 (I-K70Vのみ)	29
AUX ネームセット	30
操作パネルの取り外し	31
操作パネルの取り付け	31

<b>サウンドエフェクト</b>	<b>32</b>
オーディオコントロール	32
サブウーファー出力コントロール	32
dB イコライザー	32
dB イコライザープロの調整	33
プリセットポジションの設定	34
マニュアルポジションの調整	34
ユーザーメモリーの登録	35
ユーザーメモリーの呼び出し	36

<b>サウンドセットアップ</b>	<b>38</b>
オーディオセットアップ	38
デュアルゾーン設定	39
キャビンの設定	39
スピーカーの設定	40
タイムアライメントの設定	40
クロスオーバーの設定	41

各ソースのいろいろなプレイ方法が書いてあります。ちょっと慣れたら読んでください。

<b>ラジオを聴く</b>	<b>22</b>
プリセットチューニング	22
オートメモリー	22
マニュアルメモリー	23
チューニングモード	23
モノラルモード (FM 放送を受信中のみ)	23

<b>ミュージックディスクやオーディオファイル</b>	<b>24</b>
<b>を聴く</b>	<b>24</b>
ミュージックサーチ (CD、オーディオファイルのみ)	24
ミュージックサーチ (iPodのみ)	24
アルファベットサーチ (iPodのみ)	25
オールランダム (iPodのみ)	26
iPod コントロールハンドモード (iPodのみ)	26

<b>よく使う操作を設定する (FAVORITE コントロール)</b>	<b>42</b>
プリセットメモリー	42
プリセットメモリーの呼び出し	42
プリセットメモリーの消去	42
ネームセット	43
漢字の入力	44

<b>メニュー (MENU)</b>	<b>46</b>
時刻合わせ	46
日付合わせ	46
デモンストレーション設定	47
セキュリティコードの設定	47
セキュリティコードの入力	48
セキュリティコードのクリア	48
LX アンプコントロール	49

<b>Bluetoothデバイスの操作</b>	<b>50</b>
ハンズフリーの操作	50
オーディオプレーヤーの操作	50
Bluetooth の機能操作	50

<b>テレビコントロール</b>	<b>51</b>
基本操作	51
マニュアルメモリー	51
プリセットチューニング	51

リモコンで本機を操作する方法が書いてあります。

<b>リモコン操作</b>	<b>52</b>
共通操作	52
ラジオ	53
CD/ オーディオファイル /KSF	53
ネームセット (FAVORITE のみ)	54
テレビ	54
電池の入れかた	55

トラブルの解決方法などが書いてあります。思いどおりに動かないときに読んでください。

<b>Help? オーディオファイル</b>	<b>56</b>
オーディオファイル	56
ミュージックエディター	56
iPod について	56
<b>Help? 故障かな?と思ったら</b>	<b>57</b>
共通	57
USB デバイス	57
ミュージックディスク	57
オーディオファイル	57
サウンドエフェクト/サウンドセット アップ	58
メニュー (MENU)	58
<b>Help? 用語集</b>	<b>60</b>
共通	60
サウンドエフェクト	60
サウンドセットアップ	61
メニュー (MENU)	61
<b>Help? エラー表示</b>	<b>64</b>

<b>取り付け時のご注意</b>	<b>66</b>
<b>接続</b>	<b>68</b>
<b>取り付け</b>	<b>71</b>

<b>仕様一覧</b>	<b>72</b>
<b>保証とアフターサービス</b>	<b>74</b>

### 「オーディオファイル」とは?

本書に書かれている「オーディオファイル」とは、USBデバイスやiPod、CD-R/RWに記録されたAAC、MP3、WMAファイルのことです。詳しくは「オーディオファイル」(p56)をご覧ください。

### デモンストレーションの解除について

ご使用になる前にデモンストレーションモードを解除する必要があります。詳しくは「デモンストレーション設定」(p47)をご覧ください。

### 時計・日付計の調整について

時計や日付の調整はメニュー設定で行います。詳しくは「時刻合わせ」、「日付合わせ」(p46)をご覧ください。

安全上のご注意  
使用上のご注意  
本書の読みかた

基本操作

ファンクションコントロール

ラジオを聴く

ミュージックディスクや  
オーディオファイルを聴く

ディスプレイコントロール

サウンドエフェクト

サウンドセットアップ

よく使う操作を設定する  
(FAVORITE コントロール)

メニュー (MENU)  
時刻合わせ

Bluetooth デバイスの操作  
テレビコントロール

リモコン操作

Help?

取り付け時のご注意  
接続  
取り付け  
仕様一覧

# 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

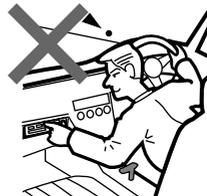
## 警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入など）



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

USB デバイスは運転に支障をきたさないような場所に固定してください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

**禁止**

修理は必ず購入店、またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。  
お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

**禁止**

本製品の分解や改造はしないでください。  
火災その他の事故の原因となります。

## 注意

**禁止**

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。

**禁止**

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

**禁止**

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

**禁止**

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。  
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

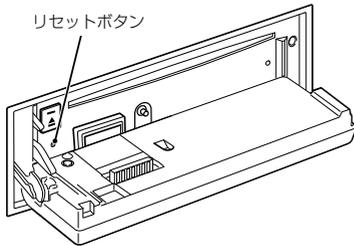
**実施**

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。  
安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

# 使用上のご注意

## 異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、「Help? 故障かな?」と思ったら (p57) および「Help? エラー表示」(p64)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店または、お近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- ディスクが取り出せない。
- ディスクを正しく入れ直してもインジケーターの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに“AUX EXT”と表示される。
- KCA-S220A、CA-C1AX/CA-C2AXが接続されていないときに“AUX EXT”と表示される。

## USBデバイスのご使用上の注意

USBデバイスを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USBデバイスが変形や故障する場合があります。

本機で使用するオーディオファイルはバックアップをしてください。USBデバイスの使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしません。あらかじめご了承ください。

本製品にUSBデバイスは付属されていません。別途、市販品を購入してください。使用できるUSBデバイスについては「オーディオファイル」(p56)を参照してください。

USBケーブルを延長してUSBデバイスを接続するときは、CA-U1EX(別売品)をお薦めします。USB規格以外のケーブルを使用した場合やケーブルの総延長が5m以上になった場合は、正常にプレイできない場合があります。

● USBハブを介してUSBデバイスを認識させることはできません。

## 本機に接続できるシステムについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、Bluetoothユニット、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムが接続できます。接続できるディスクチェンジャー、Bluetoothユニット、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムの機種はカタログをご覧ください。

● “O-Nスイッチ”の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは“N”側に設定してください。

● 接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

● 別売品のCD/MDS イッチングユニット “KCA-S220A”を使用すると、ディスクチェンジャーなどを合計2台まで接続できます。接続などの詳しい説明は「接続」(p68~70)および、KCA-S220Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

● 本機およびKCA-S220Aには1997年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー/CDプレーヤー、および他社製のディスクチェンジャーは接続できません。接続すると、破損や故障の原因となります。

## オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーソースにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

## お手入れについて

● 本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスが柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。

● スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

## レンズクリーナーについて

● レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

## 表示できる文字について

本機で表示できる文字は、シフトJISです。

## 温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。

保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

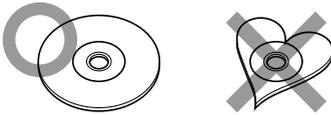
## 結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

## 使用できないディスク

特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。



マークの付いていないCDは使用しないでください。

前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-RやCD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

## ディスクの取り扱いについて

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

取扱いは記録面に触れないようにしてください。

（レーベルが印刷されていない面が記録面です）

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。

CDにゼロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。

ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。

“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

## 使用できる別売のリモコンについて

別売のリモコンについては、カタログをご覧ください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

# 本書の読みかた

この取扱説明書では、イラストを使って操作を説明します。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。

このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

## コントロールノブを操作する

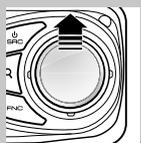
ノブの操作を下の図で表します。



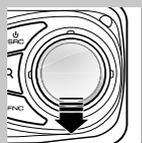
真ん中を押す



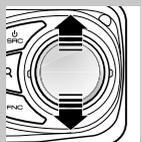
回す



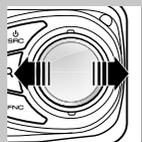
上へ



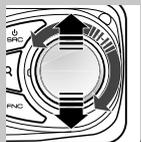
下へ



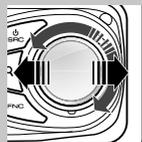
上下へ



左右へ



回すまたは上下へ



回すまたは左右へ

▼：次の段に続きます。

●：ここで終わります。

## AUXネームセット

AUXソースに切り替えたときに表示される名前を設定します。

### 1 AUXソースにします



AUX

### 2 [FNC]ボタンを押して「MENU」▶「Name Set」と選択します

● 選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

### 3 ネームセットを開始します



AUX SRC AUX

● 現在のAUX名前が表示されるまで押し続けます。

### 4 AUX名前を選択します



● コントロールノブを回すと、次の順で切り替わります。

- | 表示          |
|-------------|
| AUX/AUX EXT |
| DVD         |
| PORTABLE    |
| GAME        |
| VIDEO       |
| TV          |

### 5 [FNC]ボタンを押して終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。
- バッテリーから本機をはずすと、AUX名前は「AUX」に戻ります。
- AUX名前は付けられるのは、内蔵AUXまたは別売品のKCA-S220Aを使用した外部AUXのみです。

上記の表記例は、実際の操作とは異なります。

**短く押す**

 で示したボタンまたはノブを押します。

**ディスプレイ表示**

この表示になるまで左の操作を行います。

**ファンクションコントロール**

ファンクションコントロールモードにして、操作するアイコンを選択することを表します。  
操作方法は「ファンクションコントロール」(p16)をご覧ください。

**1秒以上押す**

 で示したボタンまたはノブを1秒(2秒または3秒)以上押します。  
動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンまたはノブを押し続けることを表しています。  
左記では1秒間押すことを示しています。  
押す秒数は時計の中の表示を目安にしてください。

**その他のマーク**

ケガなどを防ぐための大切な注意事項が書かれています。



特記事項や補足説明、制限事項や参照ページなどが書かれています。また、機種に依存する事柄も書かれています。



その項目での全般的な注意事項や参照ページなどが書かれています。

**表示の切り替わり**

操作するたびに、ここに示した順番で表示が切り替わります。

Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

iPhoneは、Apple Inc.の商標です。

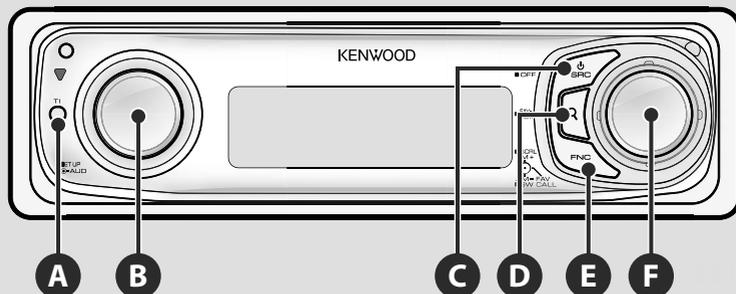
「Made for iPod」とは、iPod専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

「Works with iPhone」とは、iPhone専用接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

# 基本操作

## 共通操作



**C**

### 電源をオン/オフします

[SRC] ボタン **C** を押すと、電源がオンになります。  
1 秒以上押し続けると、電源がオフになります。

**B**

### 音量を調整します

オーディオノブ **B** を回して調整します。



**A**

### 交通情報を聴きます

[TI] ボタン **A** を押すと、交通情報を受信します。  
もう一度押すと、元のソースに戻ります。



- コントロールノブ **B** を左右に動かすと、交通情報の周波数 (522kHz/1620kHz/1629kHz) を切り替えることができます。
- 交通情報の受信中にオーディオノブ **B** で音量を調整すると、交通情報受信時の音量が記憶されます。

**E**

### ファンクションコントロール

[FNC] ボタン **E** を押すと、ファンクションコントロールモードになり、各機能を設定します。操作方法は「ファンクションコントロール」(p16) をご覧ください。

### 時計・日付の調整について

時計や日付の調整はメニュー設定で行います。詳しくは「時刻合わせ」、「日付合わせ」(p46) をご覧ください。

### デモンストレーションの解除について

ご使用になる前にデモンストレーションモードを解除する必要があります。詳しくは「デモンストレーション設定」(p47) をご覧ください。



**注意**

安全のために、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

## C F

## ソースを切り替えます

## ソースセレクトモード1

1. [SRC]ボタン $\odot$ を押してダイレクト選択モードにします。
2. コントロールノブ $\odot$ を回してソースアイコンを選択します。
3. コントロールノブ $\odot$ を押して決定します。

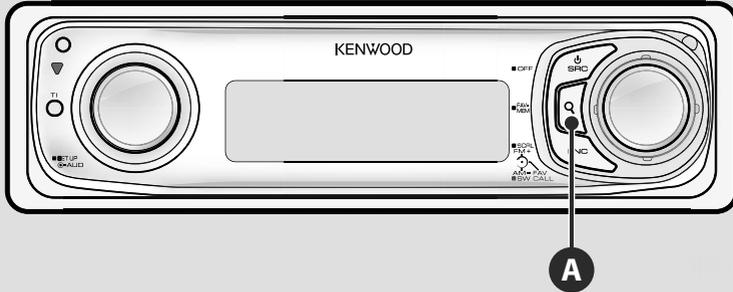
## ソースセレクトモード2

[SRC]ボタン $\odot$ を押すたびに、プレイ可能なソースが次の順に切り替わります。



- iPodを付属のiPodケーブルで接続していると、“USB”表示は認識後に“iPod”になります。iPodについては「iPodについて」(p56)をご覧ください。
- CDが挿入されていないときや、CDチェンジャーなど別売品が接続されていないときは、そのソースには切り替わりません。
- 外部プレーヤーを選択時は次のように表示されます。
  - “CD Changer”：CDチェンジャー
  - “EXTRA”：KCA-iP501(別売品)で接続したiPod
  - “HDD EXT”：HDX-710などの音楽ファイル(KSF)
- KCA-iP501(別売品)で接続したiPodのプレイのしかたはKCA-iP501の取扱説明書をご覧ください。
- HDX-710などの音楽ファイル(KSF)のプレイのしかたは「ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く」(p24)をご覧ください。
- LX-BUS接続したテレビでは、USB(iPod)ソースはCDソースと認識され、表示や音声案内でもCDソースとして扱われます。
- 内蔵AUXソースに切り替えるには、「ファンクションコントロール」(p16)の“Built in AUX”項目を“ON”に設定する必要があります。
- 外部AUX(“AUX EXT”)を使用するためには、別売品のKCA-S220A、CA-C1AXまたはCA-C2AXが必要です。
- “AUX”表示やKCA-S220Aを使用した“AUX EXT”表示は「AUXネームセット」(p30)で替えることができます。

## 共通操作



**A**

### FAVORITE (フェイバリット) コントロール

[Q] ボタン<sup>A</sup>で、選択しているソースに関係なくお気に入りの放送局、iPodのプレイリストやアーティストなどを選択する操作手順をメモリーしたり、メモリーした操作を呼び出せます。操作方法は「よく使う操作を設定する (FAVORITE コントロール)」 (p42) をご覧ください。

#### 設定できる項目

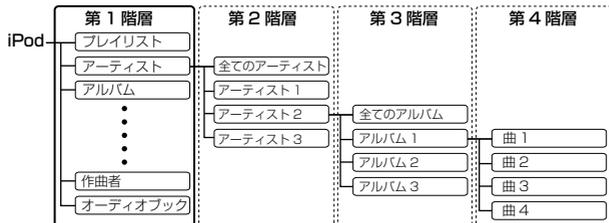
次の項目が設定できます。

##### 設定項目

ラジオ	FM/AM放送のプリセット局の呼び出し (p22)
iPod	プレイリスト、アーティストの一覧表示など
ファンクション	ファンクションコントロールの設定項目 (p16)
コントロール	

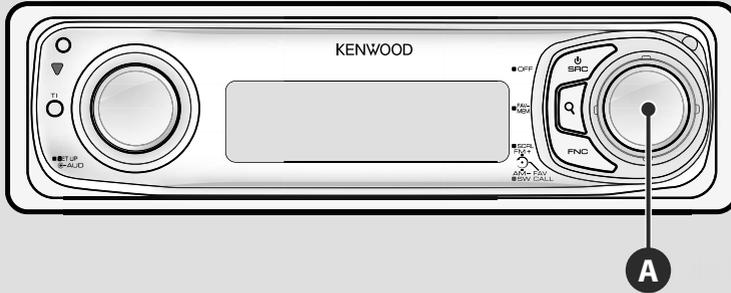
#### iPodの設定について

お好みの第1階層のリストを登録できます。



- 第2階層以下の設定をした場合、FAVORITE登録後にiPod内の曲の追加や削除を行うとiPod内のリストが変更されるため、呼び出すと本機で登録したリストと異なることがあります。iPodの編集を行ったときには、FAVORITE登録をしておいてください。
- ラジオでメモリーしたプリセット局 (放送局) をFAVORITE登録後に変更すると、FAVORITE登録されている放送局も変更されます。

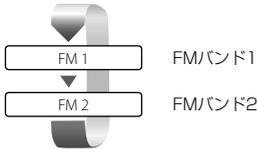
# ラジオを聴く



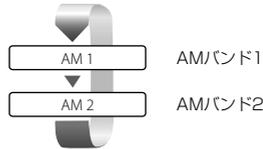
A

## バンドを切り替えます

コントロールノブ **A** を上に動かすと、受信バンドが次のように切り替わります。



コントロールノブ **A** を下に動かすと、受信バンドが次のように切り替わります。



- ステレオ受信中は **ST** インジケーターが点灯します。インジケーター表示は「ディスプレイタイプ設定」(p27) のステータス表示をご覧ください。
- その他、ラジオのいろいろな設定については、「ラジオを聴く」(p22) をご覧ください。

A

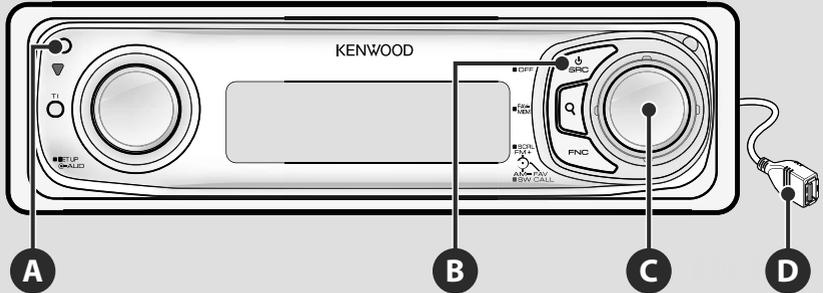
## 放送局を選択します

コントロールノブ **A** を左右に動かすと、受信状態の良い放送局を自動的に受信します。



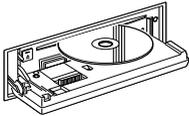
- 選局方法は設定によって、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信することができます。詳しくは「チューニングモード」(p23) をご覧ください。

## ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く



A

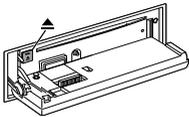
### CD/オーディオファイルをプレイします



○ボタン $\odot$ を押して操作パネルを開きます。

ディスク挿入口にディスクを挿入すると、差し込んだディスクがプレイされます。

### ディスクを取り出します



[▲] (イジェクト) ボタンを押します。ディスクが排出されます。



- ディスクは水平に差し込んでください。
- ディスクが入っているときには **CD-IN** インジケーターが点灯します。  
インジケーター表示は「ディスプレイタイプ設定」(p27) のステータス表示をご覧ください。
- ディスクがすでに入っているときには、[SRC]ボタン $\odot$ でCDソースに切り替えるとプレイされます。ソースの切り替え方法は「ソースを切り替えます」(p11) をご覧ください。
- 通常のCDのほかに、オーディオファイルが収録されたCD-R/CD-RWをプレイできます。  
プレイできるオーディオファイルの種類、フォーマットなどについては、「オーディオファイル」(p56) をご覧ください。
- その他のいろいろなプレイ方法については、「ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く」(p24) をご覧ください。
- 開いている操作パネルには無理な力をかけないでください。
- 操作パネルを開いたまま長時間使用しないでください。
- 操作パネルは必ず閉めてご使用ください。

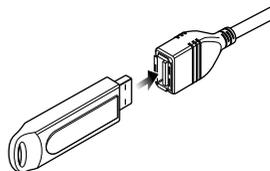
D

**USBデバイス内のオーディオファイルをプレイします**

USBメモリーやiPodなどのUSBデバイスを接続すると、USBデバイスのプレイが始まります。

**USBデバイスを取り外します**

操作パネルを開き[▲]イジェクトボタンを2秒以上押し続けてリムーブモードにします。[▲]イジェクトボタンが点滅したら、USBデバイスを取り外します。



- リムーブモードにしないでUSBデバイスを取り外すと、USBデバイス内のデータが破損する場合があります。



- USBデバイスがすでに接続されているときには、[SRC]ボタン $\text{\textcircled{G}}$ でUSB/iPodソースに切り替えるとプレイします。ソースの切り替え方法は「ソースを切り替えます」(p11)をご覧ください。
- iPodの接続は付属のiPod接続ケーブルを使用してください。iPodについては「iPodについて」(p56)をご覧ください。
- USBデバイスを接続していないときに、USBソースにすると、「No Device」と表示されます。
- プレイをストップしたあとで、再びプレイするとストップした曲からプレイを再開します。USBデバイスを取り外した場合でも、USBデバイスの保存内容が変わっていなければ、ストップした曲からプレイを再開します。
- プレイできるオーディオファイルの種類、使用できるUSBデバイスの種類や接続方法などの詳細については、「オーディオファイル」(p56)をご覧ください。
- USBデバイスのコネクターは、奥まで確実に差し込んでください。
- その他のいろいろなプレイ方法については、「ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く」(p24)をご覧ください。

E

**プレイ/ポーズします**

コントロールノブ $\text{\textcircled{G}}$ を一度押すと、プレイを一時停止します。

もう一度押すと、プレイを再開します。

G

**プレイする曲を選びます**

コントロールノブ $\text{\textcircled{G}}$ を右側へ動かすと、次の曲がプレイされます。

コントロールノブ $\text{\textcircled{G}}$ を左側へ動かすと、プレイ中の曲の先頭/前の曲がプレイされます。



- 曲を素早く探すこともできます。詳しくは「ミュージックサーチ」(p24)をご覧ください。

G

**早送り/早戻しします**

コントロールノブ $\text{\textcircled{G}}$ を右側へ押し続けると、押し続けている間、曲が早送りされます。

コントロールノブ $\text{\textcircled{G}}$ を左側へ押し続けると、押し続けている間、早戻しされます。



- オーディオファイルをプレイしているときは、早送り/早戻し中に音は出ません。
- KSF (別売品のHDX-710などの音楽ファイル) をプレイ中は、早送り/早戻しできません。

G

**プレイするフォルダ/ディスク(ディスクチェンジャー中)を選びます**

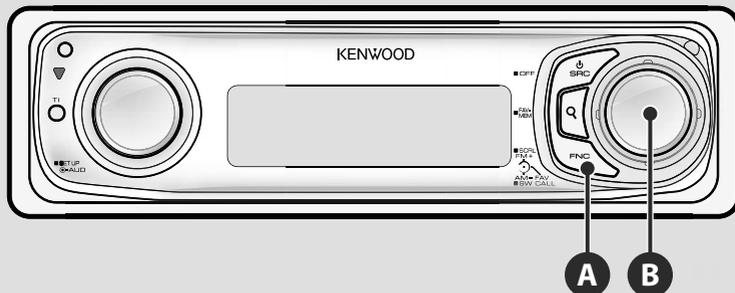
コントロールノブ $\text{\textcircled{G}}$ を上側へ押すと、次のフォルダ/ディスクの曲がプレイされます。

コントロールノブ $\text{\textcircled{G}}$ を下側へ押すと、前のフォルダ/ディスクの曲がプレイされます。



- iPodおよびMusic Editorメディアでは、ミュージックサーチ操作(p24)のあとに使用できます。

# ファンクションコントロール



**A B**

## ファンクションコントロール

- [FNC] ボタン **A** を押して、ファンクションコントロールモードにします。
- コントロールノブ **B** を左右に押して、ファンクショングループを選択します。  
左側へ押すとプリファレンス項目 ("MENU"、"SETUP"、"SOUND") の設定ができます。  
右側へ押すと現在のソース機能項目のON/OFF設定ができます。
- コントロールノブ **B** と [FNC] ボタン **A** で設定する項目を選択します。

動作	操作方法
項目を移動する	コントロールノブ <b>B</b> を回す。
項目を選択する	コントロールノブ <b>B</b> を押す。
前の項目に戻る	[FNC] ボタン <b>A</b> を押す。 または、項目リストの最後の "Return" /  を選択する。

プリファレンス項目には、次の項目があります。

表示	操作方法
"MENU"	環境の設定ができます。18ページの表をご覧ください。
"SETUP"	ディスプレイの設定ができます。19ページの表をご覧ください。
"SOUND"	オーディオの設定ができます。20ページの表をご覧ください。
—	ソース機能の設定ができます。18ページの表をご覧ください。

- 18ページからの表の「操作」を参照して、コントロールノブ **B** を操作して設定します。

-  : コントロールノブ **B** を押します。
-  : コントロールノブ **B** を左右に動かします。
-  : コントロールノブ **B** を回します。
-  : コントロールノブ **B** を1秒以上押して設定モードにします。
-  : コントロールノブ **B** を2秒以上押して設定モードにします。

- [FNC] ボタン **A** を1秒以上押して、ファンクションコントロールモードを終了します。

**A B**

**時計を調整する場合の操作例**

“MENU”(メニュー)から“Clock Adjust”項目を選択します。

**1 ファンクションコントロールモードにします**

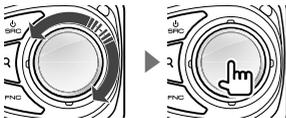


**2 プリファレンス項目を選択します**



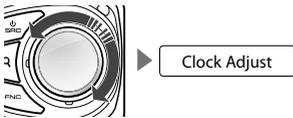
コントロールノブを左側に押して、プリファレンス項目を選びます。

**3 “MENU” 項目を選択します**



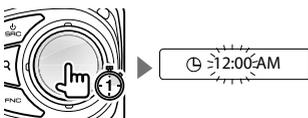
コントロールノブを回して“MENU”を選び、ノブを押して決定します。

**4 “Clock Adjust” 項目を選択します**



コントロールノブを回して“Clock Adjust”を選びます。

**5 時刻合わせを開始します**



コントロールノブを時計表示になるまで押し続けます。

時計の調整方法は「時刻合わせ」(p46)をご覧ください。

## ファンクションコントロール

### 表の見方

**SB** : スタンバイ中に設定できます。

**SB<sub>OFF</sub>** : スタンバイ以外のおきに設定できます。

**Tuner** : Tunerソース中に設定できます。

**FM** : FMを受信中に設定できます。

**AF<sub>1</sub>** : iPod/USB/CDのオーディオファイルソース中に設定できます。

**AF<sub>2</sub>** : USB (iPodを除く)/CDのオーディオファイルソース中に設定できます。

**DISC** : CD/MD/ディスクチェンジャー /外部プレーヤーソース中に設定できます。

**CD** : CDソース中に設定できます。

**CH** : ディスクチェンジャーソース中に設定できます。

**iPod** : iPodソース中に設定できます。(iPodを接続したときのUSBソース)

**AUX** : AUXソース中に設定できます。

**2ZONE** : 「オーディオセットアップ」(p38)の「2ZONE」項目が「ON」中に設定できます。

**Illumi** : 「MENU」項目の「ILM MSC SYNC」が「OFF」のときに設定できます。

— : すべてのソース中に設定できます。



- ページの欄に数字が記載されている項目は、そのページに設定の詳細が記載されています。

ソース機能項目で設定する機能は、次の項目があります。

表示	設定	操作	設定概要	ソース	ページ
iPod BY HAND	ON/OFF*		ミュージックサーチをiPod本体で操作します。	<b>iPod</b>	26
FILE SCAN	ON/OFF*		現在のフォルダやジャンルなどのオーディオファイルの最初の10秒間を次々にプレイします。	<b>AF<sub>2</sub></b>	—
FOLDER RDM	ON/OFF*		現在のフォルダやジャンルなどのオーディオファイルの中からランダムにプレイします。	<b>AF<sub>1</sub></b>	—
ALL RANDOM	ON/OFF*		iPod内のすべての曲をランダムな順に再生します。	<b>iPod</b>	—
FILE REPEAT	ON/OFF*		現在のオーディオファイルを繰り返しプレイします。	<b>AF<sub>1</sub></b>	—
FOLDER REP	ON/OFF*		現在のフォルダの中のオーディオファイルを繰り返しプレイします。	<b>AF<sub>2</sub></b>	—
TRACK SCAN	ON/OFF*		現在のCD/MDの曲の最初の10秒間を次々にプレイします。	<b>DISC</b>	—
DISC RANDOM	ON/OFF*		現在のCD/MDの中の曲からランダムにプレイします。	<b>DISC</b>	—
MAGAZINE RDM	ON/OFF*		ディスクチェンジャーの中の曲からランダムにプレイします。	<b>CH</b>	—
TRACK REPEAT	ON/OFF*		現在のCD/MDの曲を繰り返しプレイします。	<b>DISC</b>	—
DISC REPEAT	ON/OFF*		現在のCD/MDを繰り返しプレイします。	<b>CH</b>	—
REPEAT SELECT	ON/OFF*		KSFプレイ中は、押すたびにリピートプレイが次のように替わります。 ファイルリピート → フォルダリピート → リピートオフ	<b>DISC</b>	—
AUTO MEMORY			受信状態の良い放送局を自動的にメモリーします。	<b>Tuner</b>	22

プリファレンス項目で設定する機能は、次の項目があります。

種類	表示	設定	操作	設定概要	ソース	ページ
MENU	Security Set/Security Clear	—		セキュリティコードの設定と解除をします。	SB	47, 48, 63
	SRC Select	1*/2		ソースの選択方法を設定します。	SB	63
	Skip Search	0.5%*/ 1%/ 5%/ 10%		「ミュージックサーチ」(p24)でスキップする割合を設定します。	iPod	24, 63
	Beep	OFF/ON*		操作音の有無を設定します。	SB	61
	Clock Adjust	—		時刻を設定します。	—	46
	Date Adjust	—		日付を設定します。	SB	46
	DSI	ON*/OFF		盗難防止用警告ランプのオン/オフ設定をします。	SB	62
	Illumi DIM	OFF/AUTO*/ MNAL1/ MNAL2		車両のライトスイッチに連動してイルミネーションを減光するか、常時減光するかを設定します。	SB	62
	ILM Effect* <sup>1</sup>	OFF/ON*		本機の操作に連動してイルミネーションの輝度(I-K70のみ)または色(I-K70Vのみ)を変えるかを設定します。	SB	62
	ILM MSC SYNC	OFF*/ON		音量に連動してイルミネーションの輝度(I-K70のみ)または色(I-K70Vのみ)を変えるかを設定します。	—	62
	Display	OFF/ON*		操作しないときは、表示部を消します。	—	62
	DISP DIM	OFF/AUTO*/ MNAL1/ MNAL2		車両のライトスイッチに連動して表示部を減光するか、常時減光するかを設定します。	SB	62
	Contrast	1 — 5* — 10		ディスプレイのコントラストを調整します。	SB	62
	DISP N/P	POS11/POS12/ NEGA1*/ NEGA2		ディスプレイの表示タイプをネガとポジから選択します。	SB	62
	SWPRE	Rear*/Sub-W		プリアウトの出力を設定します。	SB	63
	AMP	OFF/ON*		内蔵アンプのオン/オフ設定をします。	SB	61
	Zone 2	Rear*/Front		デュアルゾーン機能の内蔵AUX入力音声の出力先を設定します。	2ZONE	63
	AMP Control	—		LXアンプコントロールの設定をします。	—	49
	Seek Mode	Auto1*/Auto2/ Manual		放送局の選択方法(チューニングモード)を設定します。	Tuner	23, 63
	MONO	OFF*/ON		モノラル音声で受信します。	FM	23, 63
Name Set	—		AUXソースに名前を付けます。	AUX	30	
カンジ ユウセン	OFF/ON*		テキスト表示時に漢字を優先して表示するか設定します。	SB	63	

次ページにつづく▶

## ファンクションコントロール

種類	表示	設定	操作	設定概要	ソース	ページ	
	Scroll	Auto*/Manual		テキスト表示を自動的にスクロールするか設定します。	—	63	
	Favorite Delete	ALL/1 — 6		FAVORITEプリセットでメモリーした設定を消去します。	<b>SB</b>	42	
	NAV Guide	OFF*/ATT/INT		接続されているナビの音声ガイド時の設定をします。	<b>SB</b>	63	
	Built in AUX	OFF*/ON		ソース選択時に内蔵AUXを表示するか設定します。	<b>SB</b>	62	
	CD Read	1*/2		CDの読み取りモードを設定します。	<b>SB</b>	62	
	DEMO Mode	OFF/ON*		デモンストレーションの設定をします。	—	47	
SETUP	Display Select	Type Select DISP TYPE [A] — [D]		ディスプレイタイプを設定します。	—	27	
		Graphic Select Graphic 1 — 2		グラフィック表示を設定します。	—	28	
		Side Select 3タイプ		サイドアイコン表示を設定します。	—	29	
		Text Select —		テキスト表示を設定します。	—	28	
		Status 表示*/非表示		ステータス表示を設定します。	—	29	
		Color Select* <sup>2</sup> All		パネルとディスプレイのイルミネーション色を設定します。	<b>llumi</b>	29	
		Display	Variable Scan*/ Color 1 — 10/ User	ディスプレイのイルミネーション色を設定します。	<b>llumi</b>		
	Right		パネルの右側のイルミネーション色を設定します。	<b>llumi</b>			
	Left		パネルの左側のイルミネーション色を設定します。	<b>llumi</b>			
SOUND	Control	EQ	—		dBイコライザーの設定をします。	<b>SB</b> <sup>(2)</sup>	32
		Bass Boost	OFF*/Step1/ Step2		低音を増強します。	<b>SB</b> <sup>(2)</sup>	—
		HIGHWAY -SOUND	OFF/STEP1/ STEP2/STEP3*		ハイウェイサウンドの設定をします。	<b>SB</b> <sup>(2)</sup>	62
		Supreme	ON*/OFF		Supreme機能のオン/オフを設定します。	<b>AF</b> <b>CD</b>	60
		Position	—		プリセットポジションの設定をします。	<b>SB</b> <sup>(2)</sup>	34
	Setup	Cabin	—		キャビンの設定をします。	<b>SB</b> <sup>(2)</sup>	39
		Speaker	—		スピーカーの設定をします。	<b>SB</b> <sup>(2)</sup>	40
		DTA	—		タイムアライメントの設定をします。	<b>SB</b> <sup>(2)</sup>	40
		X'Over	—		クロスオーバーの設定をします。	<b>SB</b> <sup>(2)</sup>	41
	Preset	Recall	—		ユーザーメモリーの呼び出しをします。	<b>SB</b> <sup>(2)</sup>	36

種類	表示	設定	操作	設定概要	ソース	ページ
	Memory	—		ユーザーメモリーの登録をします。		35
	DSP Set	Bypass/ Through*		DSP機能を使用するか(“Through” )、しないか(“Bypass” )を設定します。		—

\* お買い上げ時の設定状態を示します。

\*<sup>1</sup> I-K70Vでは、Bluetoothユニット“KCA-BT200”（別売品）を接続したときのみ設定できます。

\*<sup>2</sup> I-K70Vのみの機能です。



- セキュリティコードが設定されているときは、“Security Set” のかわりに “Security Clear”（セキュリティコード消去）が表示されます。
- AUXソースを使用しないときは、“Built in AUX” は “OFF” に設定してください。
- “NAV Guide” 項目を “INT” に設定して、ナビ音声ガイドが割り込んだときに、ナビゲーションシステムでKSF(別売品のHDX-710などの音楽ファイル)を再生していると、ナビゲーションによってはKSFの音声ナビ音声ガイドと一緒に聞こえる場合があります。
- ソース機能をONに設定したときは、各アイテム行頭の “□” に “✓” が付きます。
- “SOUND” は、「オーディオセットアップ」の “2 ZONE” が “OFF” のときに設定できます。
- “FILE SCAN” でプレイされる場所
  - オーディオファイル：最初の10秒間
  - Music Editorメディア：最初の10秒間またはサビ
 サビでスキャン中は、コントロールノブを左右に動かすと曲を替えることができます。  
 スキャン方法はミュージックエディターの設定により変わります。詳しくはミュージックエディターのヘルプを参照してください。

# ラジオを聴く

FM/AM 放送を受信します。また、各バンドごとに 6 局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

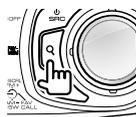


- ラジオの基本的な聴きかたは「ラジオを聴く」(p13) をご覧ください。

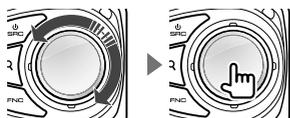
## プリセットチューニング

メモリーしたプリセット局(放送局)を受信します。

### 1 プリセットチューニングモードにします



### 2 呼び出したいプリセット局を選び決定します



コントロールノブで選局し、ノブを押して決定します。

プリセットチューニングモードを中止するときは...

[Q] ボタンを押します



- プリセット局を受信するには、あらかじめ放送局がメモリーされている必要があります。メモリー方法については、「オートメモリー」(p22) または「マニュアルメモリー」(p23) をご覧ください。

## オートメモリー

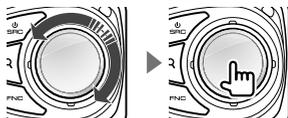
受信状態の良い放送局を自動的に選び、放送局をメモリーします。

### 1 メモリーしたいバンドを受信します

### 2 [FNC] ボタンを押して「AUTO MEMORY」を選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16) を参照してください。

### 3 オートメモリーを開始します。



コントロールノブで「YES」を選択し、ノブを押して決定します。

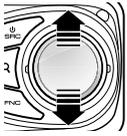


- 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的に終了します。

## マニュアルメモリー

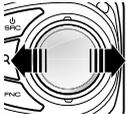
受信中の放送局をメモリーします。

### 1 バンドを選びます

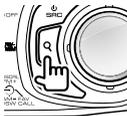


上に動かすとFMバンド1/2、下に動かすとAMバンド1/2に切り替わります。

### 2 放送局を選びます



### 3 プリセットメモリーモードにします



### 4 メモリーする番号を選びます



### 5 メモリーする番号を決定します



プリセットメモリーを中止するときは...  
[Q]ボタンを押します



- オートメモリーではメモリーされない放送局を記憶したいときなどに便利です。

## チューニングモード

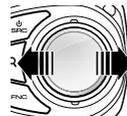
コントロールノブを左右に動かして選局するときのチューニングモードを設定します。

チューニングモードには、次の3種類があります。

### 1 [FNC]ボタンを押し▶“MENU”▶“Seek Mode”と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

### 2 チューニングモードを選びます



チューニングモードには、次の3種類があります。

表示	操作
"Auto1"	受信状態の良い放送局を自動的に選びます。(オート1)
"Auto2"	メモリーされている放送局を番号順に受信します。(オート2)
"Manual"	押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。(マニュアル)

### 3 [FNC]ボタンを押して終了します

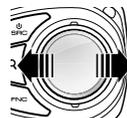
## モノラルモード (FM放送を受信中のみ)

FMステレオ放送の受信状態が良くないときにモノラルモードにすると、ノイズが軽減されて聴きやすくなる場合があります。

### 1 [FNC]ボタンを押し▶“MENU”▶“MONO”と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

### 2 モノラルモードをオン/オフします



MONO : ON  
MONO : OFF

### 3 [FNC]ボタンを押して終了します

# ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く

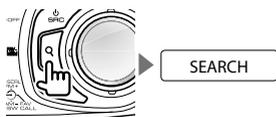
CD やオーディオファイル (CD-ROM/R/RW、USB デバイス、Music Editor メディア、および iPod)、KSF (別売品の HDX-710 などの音楽ファイル) を本機や別売品のディスクチェンジャーで、いろいろな機能を使ってプレイできます。

● CD とオーディオファイルの基本的な聴きかたは「ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く」(p14) をご覧ください。

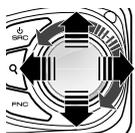
## ミュージックサーチ (CD、オーディオファイルのみ)

プレイ中のドライブやメディアから聴きたい曲を探します。

### 1 ミュージックサーチモードにします



### 2 聴きたい曲を探してプレイします



#### オーディオファイルの操作方法

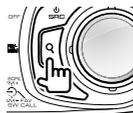
動作	操作
選択フォルダ/ファイルを移動する	コントロールノブを回す。または、オーディオノブを上下に押す。
フォルダ/ファイルを選択する	コントロールノブを押す。または、コントロールノブを右に押す。
前のフォルダに戻る	コントロールノブを左に押す。
最初のフォルダ(ルート)に戻る	コントロールノブを左に1秒以上押す。

フォルダ名の横に“◀”や“▶”が表示されている場合は、そのフォルダの前や後にもフォルダがあることを示しています。ファイル名が表示されているときは、ファイル名の最初に“♪”が表示されます。

#### 内蔵CDの操作方法

動作	操作
トラックを移動する	コントロールノブを回す。または、オーディオノブを上下に押す。
トラックを選択する	コントロールノブを押す。
最初のトラックに戻る	コントロールノブを左に1秒以上押す。

## ミュージックサーチを中止するときは…

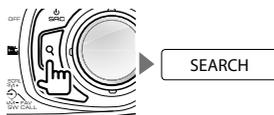


- ランダムプレイ中は、ミュージックサーチを行えません。

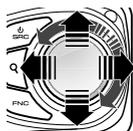
## ミュージックサーチ (iPodのみ)

iPod中の聴きたい曲を探します。

### 1 ミュージックサーチモードにします



### 2 聴きたい曲を探してプレイします



動作	操作
項目を移動する	コントロールノブを回す。
スキップサーチ*1	コントロールノブを左右に押す。
項目の決定する	コントロールノブを押す。
前の項目に戻る	コントロールノブを上を押す。
最初の項目に戻る	コントロールノブを上1秒以上押す。
イニシャルで検索する	コントロールノブを下に押す。

現在表示している項目が、全体のどのぐらいの位置にあるかを、表示部右端のスクロールバーで表示します。

## ミュージックサーチを中止するときは…

[Q]ボタンを押します



- \*1 スキップサーチ：スキップする曲数は、現在選択しているリスト内総数の割合で決まります。割合は「ファンクションコントロール」(p16) の「Skip Search」項目で設定します。また、3秒以上押し続けると設定に関係なく10%でスキップします。
- 曲名などで表示できない文字は“ ”(空白)となります。ただし、すべての文字を表示できない場合は、ブラウズ項目名と数字で表示します。

表示	表示
プレイリスト	"PLIST***"
アーティスト	"ART***"
アルバム	"ALB***"
曲名やファイル名	"PRGM***"
ポッドキャスト	"PDCT***"
ジャンル	"GEN***"
コンポーザー (作曲者)	"COM***"

動作	操作
文字を移動する	コントロールノブを回す。または、コントロールノブを左右に押す。
表示行を移動する	コントロールノブを上下に押す。
アルファベットサーチモードを中止する	IQボタンを押す。

#### 4 イニシャルを決定します



検索を開始します。検索が終わると選択した文字位置でミュージックサーチモードに戻ります。

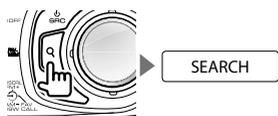


- アルファベットサーチの検索時間は、iPod内の曲数やフォルダ構造によって長くなる場合があります。
- アルファベットサーチのイニシャル選択では、“\*”は記号を、“1”は数字を検索します。
- アルファベットサーチでは、最初の文字が冠詞“a”、“an”、“the”で始まる場合は、冠詞を除いて検索します。例えば、“The artist”の場合は“artist”で検索されます。

### アルファベットサーチ (iPodのみ)

現在選択しているブラウズ項目内(アーティストやアルバムなど)のリストからアルファベットで選択できます。

#### 1 ミュージックサーチモードにします

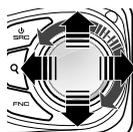


#### 2 アルファベットサーチモードにします



- 現在選択しているブラウズ項目でアルファベットサーチできない場合は表示が切り替わりません。

#### 3 検索するイニシャルを選択します



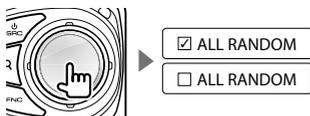
## オールランダム (iPodのみ)

iPod内のすべての曲をランダムな順に再生します。

### 1 [FNC]ボタンを押し ▶ “ALL RANDOM” を選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

### 2 オールランダムモードを設定します



押すたびにオールランダムがオン/オフされます。



- ランダムプレイ中は、コントロールノブを右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。
- iPod内の曲数やフォルダ構造によって、オールランダム機能がオンするまでの時間が長くなる場合があります。
- オールランダム機能をオンすると、iPodのブラウズ項目がソングに変更されます。オールランダム機能をオフしてもブラウズ項目はソングのままとなります。

- 接続したiPodがiPodコントロールハンド機能に対応している場合に操作できます。接続したiPodが対応していない場合は、設定項目が表示されません。

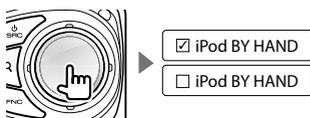
## iPodコントロールハンドモード (iPodのみ)

iPodの操作をiPod本体で行うようにします。

### 1 [FNC]ボタンを押し ▶ “iPod BY HAND” を選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

### 2 iPodコントロールモードを設定します



押すたびにiPodコントロールハンドモードがオン/オフされます。



- ハンドモードをオンにすると、プレイ時は、ポーズになります。
- iPodコントロールハンドモード中は、本機から操作できません。
- iPodコントロールハンドモード中は、曲情報などを表示できないため、「iPod by Hand Mode」と表示されます。

# ディスプレイコントロール

ディスプレイに表示する情報を設定をします。

## ディスプレイタイプ設定

ディスプレイの表示タイプを設定します。

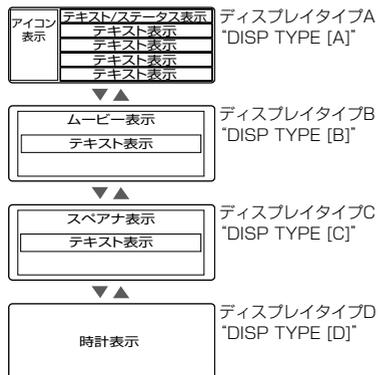
- 1 [FNC]ボタンを押し ▶ “SETUP” ▶ “Display Select” ▶ “Type Select” と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

- 2 ディスプレイタイプを切り替えます



次の順に切り替わります。



- 3 [FNC]ボタンを押して終了します

## テキスト表示設定

テキスト表示を切り替えます。

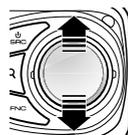
- 1 ディスプレイタイプを A、B、または C にします

「ディスプレイタイプ設定」(p27)をご覧ください。

- 2 [FNC]ボタンを押し ▶ “SETUP” ▶ “Display Select” ▶ “Text Select” と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

- 3 設定する段を選択します  
(ディスプレイタイプ A のみ)



設定できる段が変わります。  
設定可能な段のテキストが点滅します。

- 4 表示を切り替えます



表示できる項目は「テキスト表示」(p28)をご覧ください。

- 5 [FNC]ボタンを押して終了します

## テキスト表示

### スタンバイ中

表示	情報
"Source Name"	スタンバイ
"Clock"	時計表示
"Date"	日付表示
"Blank"	何も表示しません

### FM/AM受信中、交通情報受信中

表示	情報
"Frequency"	バンド+周波数表示
"Speana/Clock" または "Clock"	スペアナ表示/時計表示 ( DISP TYPE[A]/[B]) または、時計表示(DISP TYPE[C])
"Date"	日付表示
"Blank"	何も表示しません

### CD/ディスクチェンジャープレイ中

表示	情報
"Disc Title"	ディスクタイトル
"Track Title"	トラックタイトル
"P-Time"	トラック番号+プレイ時間
"Speana/Clock" または "Clock"	スペアナ表示/時計表示 ( DISP TYPE[A]/[B]) または、時計表示(DISP TYPE[C])
"Date"	日付表示
"Blank"	何も表示しません

### オーディオファイルプレイ中

表示	情報
"Title/Artist"	曲タイトル/アーティスト名
"Album/Artist"	アルバム名/アーティスト名
"Folder Name"	フォルダ名
"File Name"	ファイル名
"P-Time"	ファイル番号+プレイ時間
"Time Bar" *	時間表示プログレスバー (iPod接続時)
"Speana/Clock" または "Clock"	スペアナ表示/時計表示 ( DISP TYPE[A]/[B]) または、時計表示(DISP TYPE[C])
"Date"	日付表示
"Blank"	何も表示しません

## AUX/AUX EXT中

表示	情報
"Source Name"	AUXネーム
"Speana/Clock" または "Clock"	スペアナ表示/時計表示 ( DISP TYPE[A]/[B]) または、時計表示(DISP TYPE[C])
"Date"	日付表示
"Blank"	何も表示しません



- \* DISP TYPE[A]の一番下の行にのみ表示させることができます。
- 選択した情報がない場合は、代替の情報が表示されます。
- 表示するタイプや行などにより選べない項目があります。
- iPodのプレイ中にフォルダ名表示を選択すると、現在選択中のブラウズ項目に沿った名称が表示されます。

## グラフィック表示設定

ディスプレイタイプCのグラフィック表示を切り替えます。

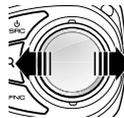
### 1 ディスプレイタイプを C にします

「ディスプレイタイプ設定」(p27) をご覧ください。

### 2 [FNC]ボタンを押し▶ “Display Select” ▶ Graphic Selectと選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16) を参照してください。

### 3 表示を切り替えます



### 4 [FNC]ボタンを押しして終了します

## ステータス表示設定

ディスプレイタイプAに表示される、各種機能のオン/オフ状態(ステータス表示)の有無を設定します。

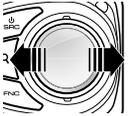
### 1 ディスプレイタイプを A にします

「ディスプレイタイプ設定」(p27)をご覧ください。

### 2 FNC]ボタンを押し▶DISP▶STATUSと選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

### 3 ステータスの表示をオン/オフします



### 4 [FNC]ボタンを押しして終了します

## サイドアイコン表示設定

ディスプレイタイプAのサイドアイコンの表示を切り替えます。

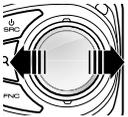
### 1 ディスプレイタイプをAにします

「ディスプレイタイプ設定」(p27)をご覧ください。

### 2 FNC]ボタンを押し▶“Display Select”▶“Side Select”と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

### 3 サイドアイコンの表示を設定します



テキストアイコンとソースアイコンが切り替わります。

### 4 [FNC]ボタンを押しして終了します

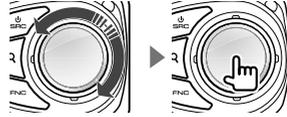
## イルミネーション色設定 (I-K70Vのみ)

パネルとディスプレイのイルミネーションの色をR(赤)G(緑)B(青)値で調整します。

### 1 [FNC]ボタンを押し▶“SETUP”▶“Color Select”を選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

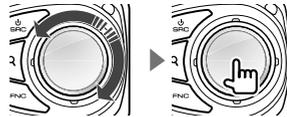
### 2 設定する場所を選択します



場所	表示
パネルとディスプレイ	All
ディスプレイ	Display
パネルの右側	Right
パネルの左側	Left

### 3 色を設定します

基本色を選択するには



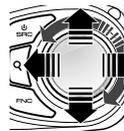
“Variable Scan”、“Color1”から“Color10”と“User”に切り替わります。

詳細色を調整するには (RGB別に調整)

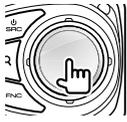
#### 1. 詳細色調整モードにします



#### 2. 色を設定します



### 3. 詳細色調整モードを終了します



動作	操作
詳細色調整モードにする	コントロールノブを1秒以上押す。
調整する色を選択する (R、G、B)	コントロールノブを左右に押す。
色を調整する (範囲：0～9)	コントロールノブを回す、または上下に押す。
詳細色調整モードを終了する	コントロールノブを押す。

### 4 [FNC]ボタンを押して終了します



- 詳細色で調整すると基本色の“User”値になります。
- 基本色で“Variable Scan”を選択すると基本色をスキャンします。スキャンしているときは 詳細色を調整できません。
- イルミネーション色設定を調整するには次の設定が必要です。  
- 「ファンクションコントロール」(p16)の“ILM MSC SYNC”項目を“OFF”

## AUXネームセット

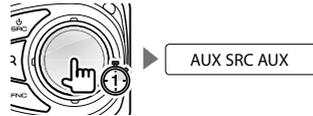
AUXソースに切り替えたとときに表示される名前を設定します。

### 1 AUXソースにします

### 2 [FNC]ボタンを押し ▶ “MENU” ▶ “Name Set” と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

### 3 ネームセットを開始します



現在のAUXネームが表示されるまで押し続けます。

### 4 AUXネームを選択します



コントロールノブを回すと、次の順で切り替わります。

表示
AUX/AUX EXT
DVD
PORTABLE
GAME
VIDEO
TV

### 5 [FNC]ボタンを押して終了します

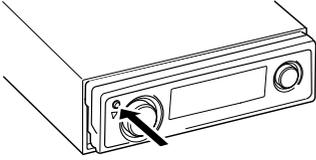


- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。
- バッテリーから本機をはずすと、AUXネームは“AUX”に戻ります。
- AUXネームを付けられるのは、内蔵AUXまたは別売品のKCA-S220Aを使用した外部AUXのみです。
- AUXソースは初期設定で“OFF”になっています。AUXネームセットの前に、「ファンクションコントロール」(p16)の“Built in AUX”を“ON”に設定してください。

## 操作パネルの取り外し

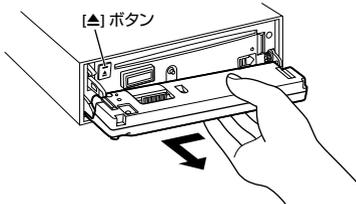
操作パネルを取り外します。

### 1 操作パネルを開きます



○ ボタンを押して操作パネルを開きます。

### 2 操作パネルを取り外します



パネルのロックが解除されて、パネルが取り外せます。

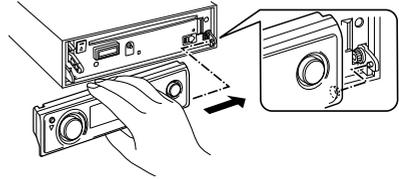


- パネルを取り外すと電源がオフになります。
- パネルは精密な部品のため、振動や落下などの衝撃により損傷する場合があります。パネルを取り外した後は、大切に保管してください。
- 取り外したパネルは、以下のような場所で保管しないでください。
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿度が高い場所
  - ほこりのかかる場所
- 本機はDSI（セキュリティインジケータ）機能を採用しています。「ファンクションコントロール」(p16)の「DSI」項目で設定します。「DSI」項目を「ON」にしておくとパネルを取り外したときに、【▲】（イジェクト）ボタンのLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。

## 操作パネルの取り付け

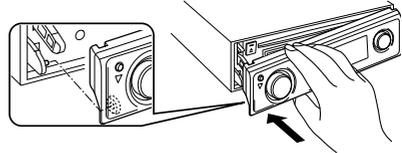
操作パネルを取り付けます。

### 1 操作パネルを本体に合わせます



パネル右側の凹部と本体右側の凸部を合わせます。

### 2 操作パネルを取り付けます



パネル左側を本体に合わせてロックします。パネルが取り付け、本機が使用可能となります。



- 取り外した操作パネルを取り付ける前にコネクタ端子に汚れやほこりがないこと、取り外したパネルと本体と間に異物がないことを確認してください。

# サウンドエフェクト

イコライザーや音場などの音響効果を設定します。



- サウンドエフェクトの各機能を使用する前に、「サウンドセットアップ」(p38) で使用環境を設定してください。車に合わせた最適なサウンドになります。
- 各機能の設定により調整できない項目があります。詳しくは「Help? 故障かな? と思ったら」(p57) をご覧ください。
- サウンドエフェクトの各機能はスタンバイ中は操作できません。

## オーディオコントロール

音量バランスなどを調整します。

### 1 オーディオコントロールを開始します



### 2 設定する項目を選びます



押すたびに、次の順に切り替わります。

表示	設定内容
"REAR VOLUME"	リアスピーカーの音量を調整します。
"SUBWOOFER LEVEL"	サブウーファースの音量を調整します。
"BALANCE"	左右の音量バランスを調整します。
"FADER"	前後の音量バランスを調整します。
通常の表示	オーディオコントロールを終了します。

### 3 各項目を設定します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

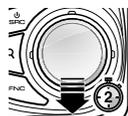
項目	設定範囲
"REAR VOLUME"	0~35
"SUBWOOFER LEVEL"	-15~+15
"BALANCE"	左15~右15
"FADER"	後15~前15



- コントロールノブまたは[FNC]ボタンを押すと、すぐに通常の表示に戻せます。

## サブウーファー出力コントロール

サブウーファー出力のオン/オフを設定します。



- SUBWOOFER ON  
(サブウーファーオン)
- SUBWOOFER OFF  
(サブウーファーオフ)

"SUBWOOFER ON" または "SUBWOOFER OFF" と表示されるまで押し続けます。

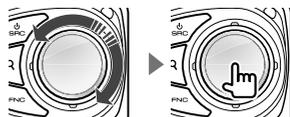
## dBイコライザー

ジャンル別に設定されたイコライザーカーブを呼び出します。

### 1 [FNC]ボタンを押し ▶ "SOUND" ▶ "Control" ▶ "EQ" ▶ "Preset Equalizer" と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16) を参照してください。

### 2 イコライザーカーブを選びます



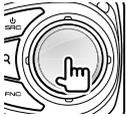
操作するたびに次のように切り替わります。

表示	設定内容
"Natural"	ナチュラル
"User"	ユーザープリセット
"Rock"	ロック
"Pops"	ポップス
"Easy"	イージー
"Top40"	トップ40
"Jazz"	ジャズ
"Game"	ゲーム
"iPod"	iPod (iPodのみ)

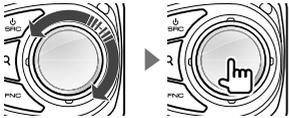
"iPod" を選択時 iPod 専用のイコライザーカーブを22種類の中から選択できます。

iPod専用のイコライザーカーブを選択するには ...

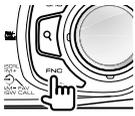
1. iPodイコライザーモードにします



2. iPodイコライザーモードを選択します

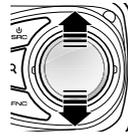


3 dBイコライザーモードを終了します



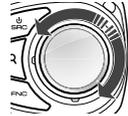
- “User” は「dBイコライザープロの調整」(p33) で設定した値を呼び出します。
- 本機のリセットボタンを押すと「ユーザーメモリーの登録」(35ページ)の“Memory1”に登録した設定値が“User”に設定されます。

3 調整する項目を選びます



カーソルを設定したい項目に合わせます。

4 選んだ項目を調整します



表示	設定範囲
“GAIN” (レベル)	-9 — +9
“EFCT” (BAND1のみ)	OFF/ ON (低音中心周波数伸張)
周波数バンド	中心周波数
“BAND1”	62.5 (Hz)
“BAND2”	250 (Hz)
“BAND3”	1 (kHz)
“BAND4”	4 (kHz)
“BAND5”	16 (kHz)

5 [FNC]ボタンを押して終了します



- dBイコライザー(p32) でiPodを選択しているときは、dBイコライザープロは設定できません。
- 各項目の詳細は「Help? 用語集」(p60) をご覧ください。

**dBイコライザープロの調整**

音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調整できます。

1 [FNC]ボタンを押し ▶ “SOUND” ▶ “Control” ▶ “EQ” ▶ “Manual Equalizer” と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16) を参照してください。

2 設定したい周波数バンドを選びます



## プリセットポジションの設定

聴く位置に合わせて、プリセットポジションの設定をします。音像定位が補正されます。

- 1 [FNC]ボタンを押し▶“SOUND”▶“Control”▶“Position”▶“Preset Position”と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

- 2 プリセットポジションを選択します



操作するたびに次のように切り替わります。

表示	設定内容
“All”	全席
“Front-Right”	前方右側
“Front-Left”	前方左側
“Front”	前方両側

- 3 [FNC]ボタンを押して終了します



- ポジション機能とタイムアライメント機能について  
はじめに「タイムアライメントの設定」(p40)で使用環境を設定します。  
プリセットポジションで実際に聴く位置を選択することで、音像の定位を補正します。  
「マニュアルポジションの調整」(p34)はプリセットポジションで設定した値をスピーカーごとに微調整します。マニュアルポジションはプリセットポジションの設定ごとにメモリーします。

## マニュアルポジションの調整

プリセットポジションの設定をスピーカーごとに微調整します。

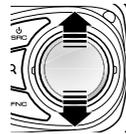
- 1 微調整するプリセットポジションを設定します

「プリセットポジションの設定」(p34)をご覧ください。

- 2 [FNC]ボタンを押し▶“SOUND”▶“Control”▶“Position”▶“Manual Position”と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

- 3 調整するスピーカーを選びます



操作するたびに次のように切り替わります。

表示	設定内容
“FRONT/L”	フロント左側
“FRONT/R”	フロント右側
“REAR/L”	リア左側
“REAR/R”	リア右側
“SUBWOOFER/L”	サブウーファー左側
“SUBWOOFER/R”	サブウーファー右側
“INITIAL”	設定値を初期状態に戻します。

- 4 選んだスピーカーを調整します



### 調整範囲

0~170 (cm) (2cmステップ)

“INITIAL”を実行するときは、コントロールノブを1秒押します。

- 5 [FNC]ボタンを押して終了します



- サブウーファー左側とサブウーファー右側を1つのサブウーファーで使用する場合は、左右を同じ値に設定してください。

- プリセットポジションの初期設定値

設定	フロント		リア		サブウーファー	
	左側	右側	左側	右側	左側	右側
全席	0	0	0	0	0	0
前方右側	34	0	34	0	0	0
前方左側	0	34	0	34	0	0
前方両側	0	0	100	100	0	0

(cm)

## ユーザーメモリーの登録

DSPの設定をメモリーします。

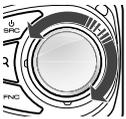
### 1 メモリーするDSPの設定をします。

メモリーできる設定は下記です。  
 「キャビンの設定」(p39)  
 「スピーカーの設定」(p40)  
 「タイムアライメントの設定」(p40)  
 「クロスオーバーの設定」(p41)  
 「dBイコライザープロの調整」(p32)  
 「プリセットポジションの設定」(p34)  
 「マニュアルポジションの調整」(p34)

### 2 [FNC]ボタンを押し▶ “SOUND” ▶ “Preset” ▶ “Memory” と選択します

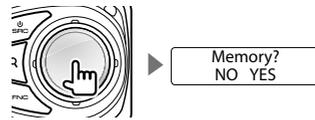
選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

### 3 メモリーする番号を選びます

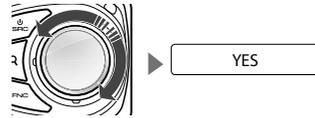


表示	設定内容
“1”	メモリー1に登録します。リセットボタンを押しても消去されません。リセットボタンを押したとき、この設定が初期設定値になります。
“2”	メモリー2に登録します。リセットボタンを押しても消去されません。
“3”	メモリー3に登録します。
⋮	
“6”	メモリー6に登録します。

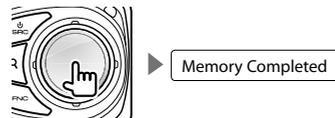
### 4 メモリーするか確認します



### 5 “YES” を選択します



### 6 DSP設定をメモリーします



### 7 [FNC]ボタンを押して終了します

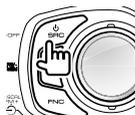


- ユーザーメモリーはソース別にはメモリーできません。

## ユーザーメモリーの呼び出し

ユーザーメモリーでメモリーした設定を呼び出します。

### 1 呼び出したいソースにします



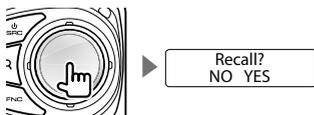
### 2 [FNC]ボタンを押し ▶ “SOUND” ▶ “Preset” ▶ “Recall” と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16) を参照してください。

### 3 呼び出す番号を選びます



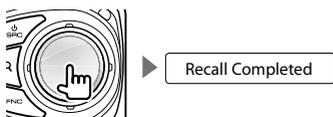
### 4 呼び出すか確認します



### 5 “YES” を選択します



### 6 DSPの設定を呼び出します



### 7 [FNC]ボタンを押して終了します



- DSPの設定値がメモリーしていた値に置き換わります。



# サウンドセットアップ

オーディオセットアップやサウンドマネジメントシステムなど使用環境を設定します

- 各機能の設定により調整できない項目があります。詳しくは「Help? 故障かな? と思ったら」(p57)をご覧ください。
- サウンドセットアップの各機能はスタンバイ中は操作できません。

## オーディオセットアップ

音量オフセットやデュアルゾーン機能などを設定します。

### 1 オーディオセットアップを開始します



### 2 設定する項目を選びます



押すたびに、次の順に切り替わります。

表示	設定内容
"VOL-OFFSET"	各ソースごとの、音量の差を調整します。
"NAV VOLUME"	ナビ音声ガイド時の音量を設定します。
"2 ZONE"	デュアルゾーン機能のオン/オフを設定します。

### 3 各項目を設定します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

表示	設定範囲
"VOLUME OFFSET"	-8 ~ ±0 (AUX: -8 ~ +8)
"NAV VOLUME"	0 ~ 25
"2 ZONE"	OFF/ON

### 4 オーディオセットアップを終了します



- "VOL-OFFSET" でソースごとに音量オフセットを設定しておく、ソースを切り替えてもほぼ同じ音量で聴くことができます。
- デュアルゾーン機能を使うと、本機でプレイするソースとAUXに入力された音声を前後のスピーカーから別々に出力できます。詳しくは「Help? 用語集」(p60)をご覧ください。

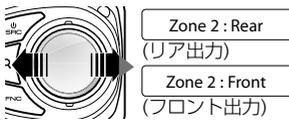
## デュアルゾーン設定

デュアルゾーン機能がオンに設定しているときの内蔵AUX入力音声(サブソース)の出力先(フロント/リア)を設定します。

### 1 [FNC]ボタンを押し▶“MENU”▶“Zone2”と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

### 2 出力先を選択します



### 3 [FNC]ボタンを押しして終了します



- 上記の操作の前に、デュアルゾーン機能をオンにしておいてください。デュアルゾーン機能の設定については「オーディオセットアップ」(p38)をご覧ください。
- メインソースは[SRC]ボタンで切り替えます。
- デュアルゾーン時には、本設定にかかわらず、フロントスピーカーの音量はオーディオノブで調整します。また、リアスピーカーの音量は「オーディオコントロール」(p32)の“REAR VOLUME”項目で調整します。
- デュアルゾーン時は、サウンドエフェクトの各種効果がオフになります。

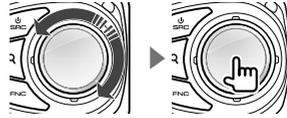
## キャビンの設定

キャビン(車種)を選択することで簡単にタイムアライメントを設定して、スピーカー間の距離差を補正します。

### 1 [FNC]ボタンを押し▶“SOUND”▶“Setup”▶“Cabin”と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

### 2 キャビンを設定します



操作するたびに次のように切り替わります。

表示	設定内容
“OFF”	スピーカーの位置補正を行いません。
“Compact”	コンパクト車
“Sedan”	セダン車
“Wagon”	ワゴン車
“Minivan”	ミニバン車
“SUV”	SUV車
“One Box”	ワンボックス車

### 3 [FNC]ボタンを押しして終了します

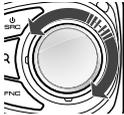
## スピーカーの設定

各スピーカーのサイズや取り付け位置を設定します。

### 1 [FNC]ボタンを押し▶“SOUND”▶“Setup”▶“Speaker”と選択します

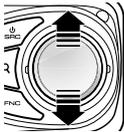
選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

### 2 設定するスピーカーを選択します



スピーカー	表示
フロントスピーカー	"FRONT"
リアスピーカー	"REAR"
サブウーファー	"SUB W"

### 3 設定する項目を選択します



項目	設定内容
"FRONT">"SIZE"	フロントスピーカーの大きさ
>"LOCATION"	フロントスピーカーの位置
>"TWEETER"	ツイーターの有無
"REAR">"SIZE"	リアスピーカーの大きさ
>"LOCATION"	リアスピーカーの位置
"SUB W">"SIZE"	サブウーファーの大きさ

### 4 スピーカーを設定します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

設定項目	設定範囲
フロントスピーカーの大きさ	O.E.M./ 10cm/ 13cm/ 16cm/ 17cm/ 18cm/ 4x6/ 5x7/ 6x8/ 6x9/ 7x10
フロントスピーカーの位置	Door/ On Dash/ Under Dash
ツイーターの有無	None/ Use
リアスピーカーの大きさ	None/ O.E.M./ 10cm/ 13cm/ 16cm/ 17cm/ 18cm/ 4x6/ 5x7/ 6x8/ 6x9/ 7x10
リアスピーカーの位置	Door/ Rear Deck (キャビン設定が"Minivan"および"One Box"以外の時) 2nd Seat/ 3rd Seat (キャビン設定が"Minivan"および"One Box"の時)
サブウーファーの大きさ	None/ 16cm/ 20cm/ 25cm/ 30cm/ 38cm Over

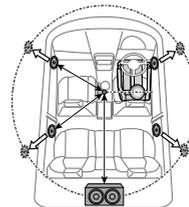
### 5 [FNC]ボタンを押して終了します



- "None" は、スピーカーがない場合の設定です。
- "O.E.M." は、車両標準で付いている再生帯域の狭いスピーカー用の設定です。

## タイムアライメントの設定

「キャビン設定」(p39)で設定したスピーカー間の距離差を、使用する車両により合うように微調整します。タイムアライメントの設定は、車両中心部からの各スピーカーの距離を指定することにより、自動的に割り出されて補正されます。

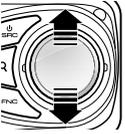


- 1 前後と高さをフロントシートに座った人の耳の位置で、左右を車室内の中央に基準点を設定します。
- 2 基準点からスピーカーまでの距離を測ります。
- 3 一番遠いスピーカーの距離に合わせて距離の差を計算します。

### 1 [FNC]ボタンを押し▶“SOUND”▶“Setup”▶“DTA”と選択します

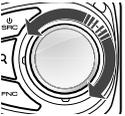
選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

## 2 設定する項目を選択します



表示	設定内容
"Front"	フロントスピーカーのタイムアライメント
"Rear"	リアスピーカーのタイムアライメント
"SW"	サブウーファーのタイムアライメント

## 3 計算した距離の差を設定します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

表示	設定範囲
"Front" /	0~440 (cm)
"Rear" /	(2cmステップ)
"SW"	

## 4 [FNC]ボタンを押して終了します



- タイムアライメント機能は、ポジション機能と合わせて使用します。「プリセットポジションの設定」(p34) もご覧ください。

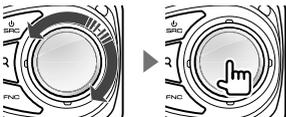
## クロスオーバーの設定

各スピーカーの補正をします。

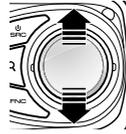
### 1 [FNC]ボタンを押し ▶ "SOUND" ▶ "Setup" ▶ "X" OVER と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16) を参照してください。

### 2 設定するスピーカーを選択します



### 3 設定する項目を選択します



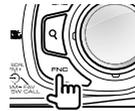
表示	設定内容
"Front"	"FC" ハイパスフィルターカットオフ周波数
	"SLOPE" ハイパスフィルタースロープ
"Rear"	"FC" ハイパスフィルターカットオフ周波数
	"SLOPE" ハイパスフィルタースロープ
"SW"	"FC" ローパスフィルターカットオフ周波数
	"SLOPE" ローパスフィルタースロープ
	"PHASE" ローパスフィルターの位相

## 4 [FNC]ボタンを押して終了します

各項目の設定範囲は次のとおりです。

表示	設定範囲
"FC"	Through/ 30/ 40/ (ハイパスフィルターカットオフ周波数)
	50/ 60/ 70/ 80/ 90/ 100/ 120/ 150/ 180/ 220/ 250 (Hz)
"FC"	30/ 40/ 50/ 60/ 70/ (ローパスフィルターカットオフ周波数)
	80/ 90/ 100/ 120/ 150/ 180/ 220/ 250 (Hz)/ Through
"SLOPE" (スロープ)	-6/ -12/ -18/ -24 (dB/Oct)
"PHASE" (位相)	Normal/ Reverse

## 5 クロスオーバー設定モードを終了します



- 各項目の詳細は「Help? 用語集」(p60) をご覧ください。

# よく使う操作を設定する(FAVORITE コントロール)

お気に入りのDJの放送局や iPod のプレイリスト、アーティストの一覧表示などを選択するまでの操作をメモリーします。メモリーした設定は、聴いているソースに関係なくダイレクトに呼び出せます。

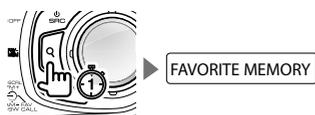
## プリセットメモリー

お気に入りの放送局、iPodのプレイリストやアーティストなどを選択する操作手順を、6種類メモリーします。メモリーできる項目は「FAVORITE (フェイバリット) コントロール」(p12)をご覧ください。

### 1 お気に入りの項目を表示します

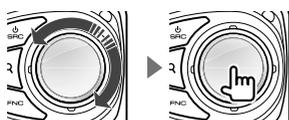
操作が記憶できるときは、ディスプレイの右下に「FAV」マークが表示されます。

### 2 プリセットモードにします



“FAVORITE MEMORY” と表示されるまで押し続けます。

### 3 メモリーする番号を選び決定します



コントロールノブで番号を選び、ノブを押し決定します。

プリセットメモリーを中止するときは…  
[Q] ボタンを押して終了します



- 同じプリセット番号に登録すると上書きされます。
- 設定したメモリーはリセットボタンを押しても消去されません。
- 「ファンクションコントロール」(p16)の“MENU”と“SOUND”項目およびオーディオコントロールの項目も同様の操作でメモリーすることが可能です。ただし、選択中のソースによっては呼び出しをできない場合があります。呼び出し可能なソースについては「ファンクションコントロール」(p16)のソース欄を参照してください。
- USBデバイス(メモリーなど)のフォルダやファイルの選択は設定できません。

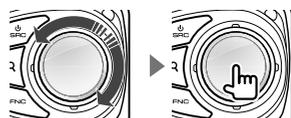
## プリセットメモリーの呼び出し

プリセットでメモリーした設定を呼び出します。

### 1 プリセット呼び出しモードにします

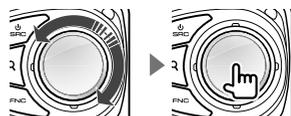


### 2 呼び出しするメモリー番号を選び決定します



コントロールノブで番号を選び、ノブを押し決定します。

プリセットメモリーの呼び出しを中止するときは…



コントロールノブで“Return”を選択し、ノブを押し決定します。



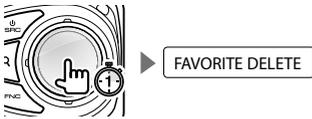
- iPodのときは、プレイリスト/アーティスト/アルバムなどのリスト選択画面を呼び出します。曲は自動的に再生されません。
- 「ファンクションコントロール」(p16)の設定項目を呼び出すときは、あらかじめ「ファンクションコントロール」リストのソース欄のソースを選択しておきます。

## プリセットメモリーの消去

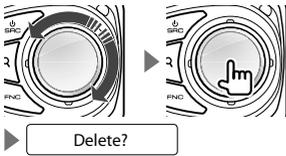
プリセットでメモリーした設定を消去します。

### 1 スタンバイ ソースにする ▶ [FNC] ボタンを押し ▶ “MENU” ▶ “Favorite Delete” と選択します

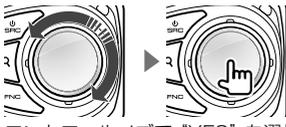
選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

**2** プリセットメモリー消去モードにします

“FAVORITE DELETE” と表示されるまで押し続けます。

**3** コントロールノブで消去する番号または“ALL” (全部) を選び決定します

“Delete?” と表示されます。

**4** 選択したプリセットメモリーを消去します

コントロールノブで“YES”を選択し、ノブを押して決定します。

Completed

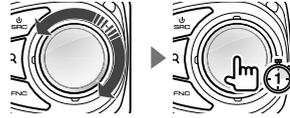
“Completed” と表示されます。  
プリセットメモリー消去モードが終了します。



- プリセットメモリーがされていないときは、“Favorite: No memory” と表示されます。

**ネームセット**

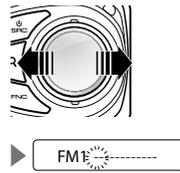
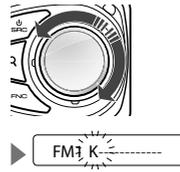
登録したプリセットメモリーの名前を変更できます。

**1** プリセット呼び出しモードにします**2** 呼び出しするメモリー番号を選びネームセットを開始します

コントロールノブで番号を選び、ノブを押し続けます。

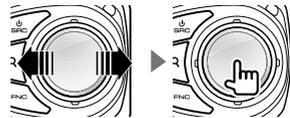
FAVORITE NAME SET

“FAVORITE NAME SET” と表示されるまで押し続けます。

**3** 文字を入力する位置にカーソルを移動します**4** 文字を選びます

名前は12文字まで登録できます。  
入力できる文字が次の順に切り替わります。

表示	文字種
“A”	英大文字
“a”	英小文字
“ア”	カタカナ
“あ”	ひらがな
“1”	数字・記号

**5** 手順3、4を繰り返し、すべての文字を入力します**6** ネームセットを終了します

コントロールノブで“ENTER”を選択し、ノブを押して決定します。

ネームセットを中止するときは…  
[FNC]ボタンを押して終了します

## 漢字の入力

登録したプリセットメモリーに漢字を入力して表示させることができます。

### 1 ネームセットを開始します

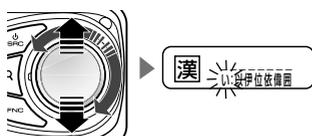
「ネームセット」(p43) の手順1～3をご覧ください。

### 2 漢字入力モードにします

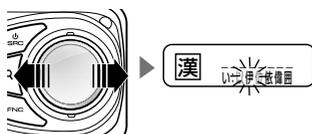


“漢”と表示されるまで押し続けます。

### 3 漢字の読みを選びます

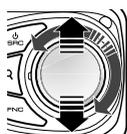


### 4 入力する漢字を選びます



カーソルが読みの位置から漢字の位置に移動します。

漢字列を変えるには…



カーソルが漢字の位置にあるときに押すと、漢字列が変わります。

### 5 漢字を入力します



カーソルがある位置の漢字が入力され、漢字入力モードが終了します。

### 6 手順2～5を繰り返して、すべての漢字を入力します

漢字入力を中止するときは…





# メニュー (MENU)

各種の機能を設定します。

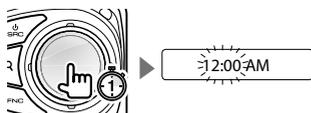
## 時刻合わせ

本機の時計を合わせます。

- 1 スタンバイ ソースにする▶[FNC]ボタンを押し  
▶“MENU”▶“Clock Adjust”と選択しま  
す

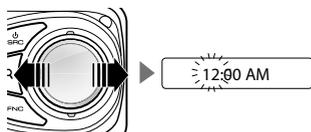
選択のしかたは「ファンクションコントロール」  
(p16)を参照してください。

- 2 時刻合わせを開始します



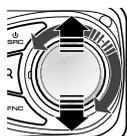
時計表示になるまで押し続けます。

- 3 調整する項目を選択します



設定できる項目(時、分)を選択します。

- 4 時刻を調整します



- 5 手順3~4を繰り返して時刻を合わせます

▶“分”を調整したときには、時計合わせ終了時に00秒  
からスタートします。

- 6 [FNC]ボタンを押して終了します



- 時計は12時間制で表示します。

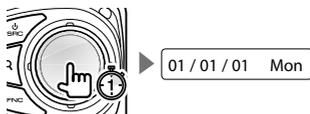
## 日付合わせ

本機の日付を合わせます。

- 1 スタンバイ ソースにする▶[FNC]ボタンを押し  
▶“MENU”▶“Date Adjust”と選択しま  
す

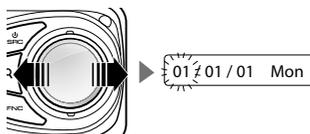
選択のしかたは「ファンクションコントロール」  
(p16)を参照してください。

- 2 日付合わせを開始します



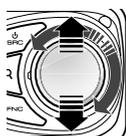
日付表示になるまで押し続けます。

- 3 合わせる項目を選択します



設定できる項目(年、月、日)を選択します。

- 4 日付を合わせます



- 5 手順3~4を繰り返して日付を合わせます

- 6 [FNC]ボタンを押して終了します

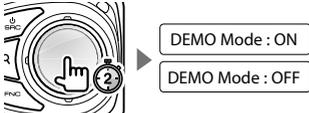
## デモンストレーション設定

デモンストレーションモードを設定します。

### 1 [FNC]ボタンを押し▶ “MENU” ▶ “DEMO Mode” と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

### 2 デモンストレーション機能を設定します



2秒以上押すたびに、デモンストレーション機能がオン/オフします。

### 3 [FNC]ボタンを押して終了します

## セキュリティコードの設定

4桁の暗証番号を設定して、盗難を抑制します。

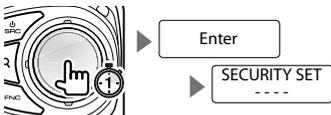


- 設定したセキュリティコードの変更・消去には、セキュリティコードの入力が必要です。セキュリティコードは必ずメモしておくことをお勧めします。
- セキュリティコード機能は“DEMO Mode”項目が“OFF”のときに設定できます。(p47)

### 1 スタンバイソースにする▶ [FNC]ボタンを押し▶ “MENU” ▶ “Security Set” と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

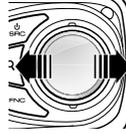
### 2 セキュリティコードセットを開始します



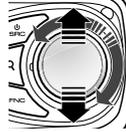
“Enter”と表示されるまで押し続けます。

### 3 セキュリティコードを入力します

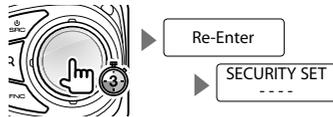
入力する桁を選択するには



入力する数字を選択するには



### 4 決定します



“Re-Enter”と表示されるまで押し続けます。

### 5 もう一度入力します

手順3と同じ方法で、同じセキュリティコードを入力します。

### 6 決定します



“Approved”と表示されるまで押し続けます。

### 7 [FNC]ボタンを押して終了します



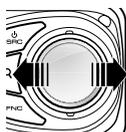
- 手順5で入力したセキュリティコードが手順3で入力したセキュリティコードと異なる場合は、手順3からやりなおすことになります。
- セキュリティコードが設定されると、リセットボタンを押したときやバッテリーの接続を切った場合にセキュリティコードの入力が必要となります。詳しくは、「セキュリティコードの入力」(p48)をご覧ください。

## セキュリティコードの入力

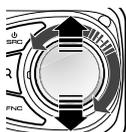
セキュリティコードが設定されている場合、リセットボタンを押した後や本機をバッテリーから外した後で初めて使うときには、電源をオンにするためにセキュリティコードを入力する必要があります。

### 1 セキュリティコードを入力します

入力する桁を選択するには



入力する数字を選択するには



### 2 決定します



“Approved”と表示されるまで押し続けます。



- 入力したセキュリティコードが間違っていると電源がオフになります。このようなときは、[SRC]ボタンを押して電源をオンにしてから再度セキュリティコードを入力してください。

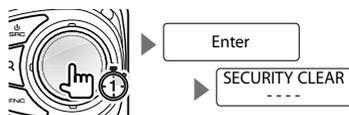
## セキュリティコードのクリア

セキュリティコードの設定を解除します。

### 1 スタンバイソースにする▶[FNC]ボタンを押し ▶“MENU”▶“Security Clear”と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

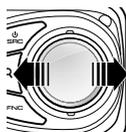
### 2 セキュリティコードクリアを開始します



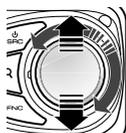
“Enter”と表示されるまで押し続けます。

### 3 セキュリティコードを入力します

入力する桁を選択するには



入力する数字を選択するには



「セキュリティコードの設定」(p47)で設定したセキュリティコードを入力します。

### 4 決定します



“Clear”と表示されるまで押し続けます。

### 5 [FNC]ボタンを押して終了します



- 入力したセキュリティコードが間違っていると、電源がオフします。

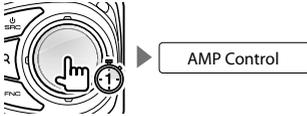
## LXアンプコントロール

別売品のLXアンプが接続されているときに、本機からコントロールすることができます。

### 1 [FNC]ボタンを押し▶ “MENU” ▶ “AMP Control” と選択します

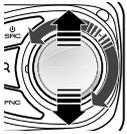
選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p16)を参照してください。

### 2 アンプコントロールモードにします

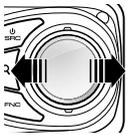


“AMP Control”と表示されるまで押し続けます。

### 3 調整するアンプコントロール項目を選択します



### 4 アンプコントロール項目を調整します



### 5 [FNC]ボタンを押して終了します



- アンプコントロール項目の詳細については、LXアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

# Bluetoothデバイスの操作

別売品の Bluetooth ユニット、KCA-BT200 が接続されているときに、本機から Bluetooth デバイスを操作することができます。

## ハンズフリーの操作

ハンズフリーの操作はKCA-BT200の取扱説明書を参照してください。

ただし、以下の点でKCA-BT200の取扱説明書の記載内容と相違がありますので、読み替えて操作してください。

KCA-BT200の取扱説明書の記載	本機の操作
[ATT]ボタン	[T]ボタン
「プリセットダイヤルで電話をかける」の「3-1. [FNC]ボタンを押します。」	[Q]ボタン
「プリセットダイヤルに登録する」の「2-1. [FNC]ボタンを押します。」	[Q]ボタン

KCA-BT200の取扱説明書の記載	本機の表示
"V-REC"	"Voice Recognize"
"PRVT"	"PRIVATE"

## オーディオプレーヤーの操作

オーディオプレーヤーの操作はKCA-BT200の取扱説明書を参照してください。

## Bluetoothの機能操作

Bluetoothの機能操作はKCA-BT200の取扱説明書を参照してください。

ただし、以下の点でKCA-BT200の取扱説明書の記載内容と相違がありますので、読み替えて操作してください。

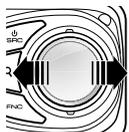
KCA-BT200の取扱説明書の記載	本機の表示
"VOICE"	"Voice Tag"
"NAME"	"PB Name Edit"
"TYPE" / "P-TYPE"	"PN Type Edit"
"SMSDL"	"SMS Download"
"INBOX"	"SMS Inbox"

# テレビコントロール

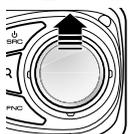
別売品の LX-BUS 対応のナビゲーション、HDX-710 などが接続されているときに、本機からテレビのコントロールをすることができます。

## 基本操作

受信するテレビチャンネルを選択します

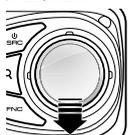


テレビ放送バンドとビデオ入力を切り替えます



テレビバンドとビデオ入力  
が切り替わります。

音声多重放送のメイン音声とサブ音声を切り替えます



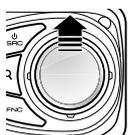
メイン音声とサブ音声に切り  
替わります。



- 動作は接続している別売品のテレビモニターの設定によって異なります。詳しくは、テレビモニターの取扱説明書を参照してください。

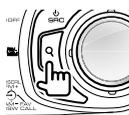
## マニュアルメモリー

### 1 バンドと放送局を選びます



放送局を受  
信します。

### 2 プリセットメモリーモードにします



### 3 メモリーする番号を選びます



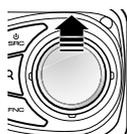
### 4 メモリーする番号を決定します



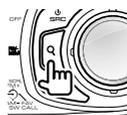
プリセットメモリーモードを中止するときは...  
[Q]ボタンを押します

## プリセットチューニング

### 1 バンドを選びます



### 2 プリセットチューニング選択モードにします



チャンネルリストが表示され  
ます。

### 3 呼び出すプリセットナンバーを選びます



### 4 放送局を呼び出します



プリセットチューニングモードを中止するときは...  
[Q]ボタンを押します

# リモコン操作

本機を付属のリモコンで操作することができます。

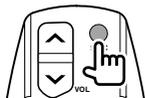


- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
- 電池を炎の中に入れて、高温になる場所に置かないでください。破裂することがあります。
- 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れてはしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

## 共通操作

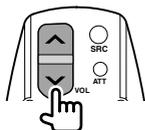
### ソース切り替え

プレイするソースを切り替えます。



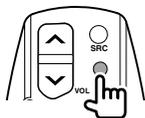
### 音量調整

音量を調整します。



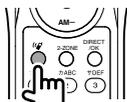
### アッテネーター

ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押しすと、元の音量に戻ります。



### 🔗 ボタン

このボタンはBluetoothユニット（別売品）を接続したときに、使用します。



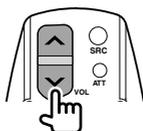
## オーディオコントロール

音質などを調整します。

### 1 調整する項目を選びます。



### 2 調整します。



- 調整できる項目については「オーディオコントロール」(p32) をご覧ください。

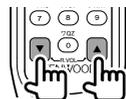
## デュアルゾーン

デュアルゾーン機能をオン/オフします。



## リア音量調整

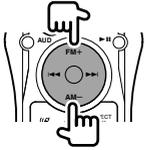
デュアルゾーン機能オン時のリアの音量を調整します。



## ラジオ

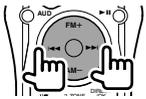
## バンド切り替え

受信するバンドを切り替えます。



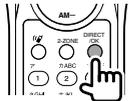
## 選局

受信する放送局を切り替えます。



## ダイレクトチューニング

このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。



例：76.1MHz (FM) の場合 (3桁)

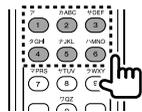
7 6 1

例：522kHz (AM) の場合 (4桁)

0 5 2 2

## プリセットチューニング

メモリーされている放送局の番号を押すと、プリセットされた局を受信できます。

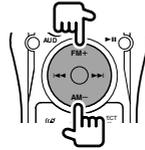


## CD/オーディオファイル/KSF

## ディスクサーチ/フォルダサーチ

(ディスクサーチ：ディスクチェンジャーのみ)

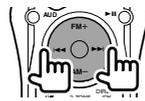
プレイするディスク/フォルダを選択します。



また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

## トラックサーチ/ファイルサーチ

プレイする曲/ファイルを選択します。

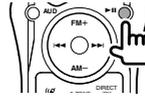


また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラック/ファイルをダイレクトサーチします。

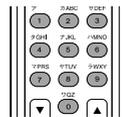
## プレイ/ポーズ

プレイを一時停止します。

もう一度押すと、プレイを再開します。



## テンキー

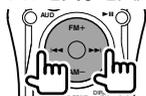


- テンキーに続いてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。
- オーディオファイルのプレイ中にテンキーに続いてファイルサーチキーを押すとプレイ中のフォルダ内のファイルをダイレクトサーチできます。
- iPod、Music Editorメディア、およびKSFのプレイ中は、ダイレクトサーチできません。
- ランダムプレイまたはスキャンプレイがオンのときは、ダイレクトサーチできません。

## ネームセット (FAVORITEのみ)

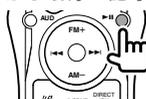
### カーソル

カーソルを文字を入力する位置に移動します。



### 文字種切り替え

入力する文字の種類 (英大文字/英小文字/カタカナ/ひらがな/数字・記号) を切り替えます。



### 文字入力

文字を入力します。



例: 「コ」を入力する場合 (カタカナ)

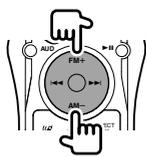
② (9回押す)

例: 「h」を入力する場合 (英小文字)

④ (2回押す)

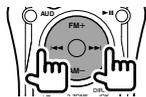
### 文字選択

文字を順に切り替えます。

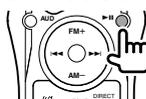


### 終了

カーソルを“ENTER”の位置に移動します。



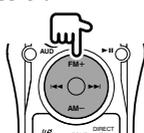
登録が完了します。



## テレビ

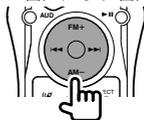
### バンド/ビデオ切り替え

受信するテレビバンドの放送局とビデオ入力を切り替えます。



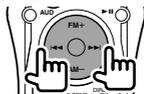
### 音声多重切り替え

メイン音声/サブ音声を切り替えます。

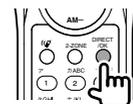


### チャンネル選択

受信するチャンネルを選択します。



### ダイレクトチューニング



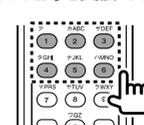
このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。

例: 3chの場合 (2桁)

① ③

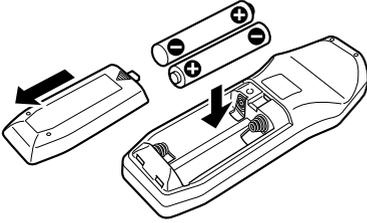
### プリセットチューニング

メモリーされている放送局の番号を押すと、プリセットされた局を受信できます。



## 電池の入れかた

付属の電池(単三形2本)を+/-の向きを正しく合わせて入れてください。



- 操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

## オーディオファイル

以下のオーディオファイルがプレイできます。

### プレイできるオーディオファイル

AAC-LC (.m4a), MP3 (.mp3), WMA (.wma)

### 使用できるメディア

CD-R/RW/ROM

### 使用できるディスクのフォーマット

ISO 9660 Level 1, ISO 9660 Level 2, Joliet, Romeo, Long file name

### プレイできるUSBデバイス

USBマストレージクラス、付属のiPod接続ケーブルで接続されたiPod

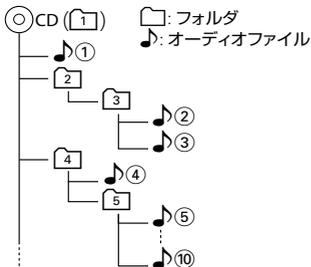
### プレイできるUSBデバイスファイルフォーマット

FAT16, FAT32

上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアやデバイスの種類やコンディションにより正常にプレイできない場合があります。

### オーディオファイルをプレイする順番

下記のようなフォルダ・ファイル階層のメディア/デバイスでは①から⑩の順にプレイされます。



オーディオファイルに関するオンラインマニュアルを、[www.kenwood.com/audiofile](http://www.kenwood.com/audiofile)で公開しています。オンラインマニュアルには、この取扱説明書に記載されていない詳しい情報や注意事項が掲載されています。この取扱説明書とあわせて必ずお読みください。



- USBデバイスやiPodを接続して本機の電源をオンにすると、接続している機器の充電ができます。
- USBハブやマルチカードリーダーを介してUSBデバイスを認識させることはできません。

音楽などの著作物を個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

## ミュージックエディター

本機にはMusic Editor PCアプリケーションソフトウェアのCD-ROMが付属しています。

Music Editorで作成したUSBデバイスを再生できません。

- Music Editorの取り扱いについてはCD-ROMに収録されている説明書およびアプリケーションヘルプを参照してください。
- Music Editorの機能や使用方法などについては、ケンウッドカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- Music Editorに関する最新の情報は、下記URLをご覧ください。  
URL : <http://www.kenwood.co.jp/faq/>

## iPodについて

付属のiPod接続ケーブルで接続します。ソース選択の“USB”表示は認識後に“iPod”になり、本機からコントロールが可能になります。本書で断りの無い限り「iPod」と呼んでいるのは付属のiPod接続ケーブルで接続されたiPodおよびiPhoneを指します。

本機からコントロールできるiPodは以下のとおりです。

Made for

- iPod nano (1st generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod with video
- iPod classic
- iPod touch (1st generation)
- iPod touch (2nd generation)

Works with

- iPhone 3G



iPhone 3G  
8GB 16GB



- iPodを接続してプレイすると、最初はiPodでプレイしていた曲から始まります。
- iPodに“KENWOOD”と表示されているときは、iPodの操作はできません。

## 共通

### ? チューナーの感度が悪い

- ✓ 自動車のアンテナが伸びていない。
- ➡ アンテナを十分に伸ばしてください。

- ✓ アンテナコントロール電源が接続されていない。
- ➡ 「接続」(p68) を参照して正しく接続し直してください。

- ✓ アンテナ入力がきちんと接続されていない。
- ➡ アンテナ入力を確実に接続してください。

### ? 接続したTVユニットでUSBソースに切り替えても、USBソースの表示・音声案内をしない

- ✓ TVユニットなどでは、USBソースはCDソースと認識されるため、CDソースの表示・音声案内がされている。
- ➡ CD、USBソースで切り替えたときは、表示は変わらず音声案内もされません。

## USBデバイス

### ? • USBデバイスを認識しない

- USBデバイスのオーディオファイルの音が出なくなった
- ✓ USBコネクタが抜けている。
- ➡ USBデバイスやUSBケーブルのコネクタを確実に接続してください。

## ミュージックディスク

### ? ディスクを取り出せない

- ✓ 車両のACCスイッチをオフしてから10分以上経過したため。
- ➡ ACCスイッチをオフしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてから[▲] (イジェクト) ボタンを押してください。

### ? CDやオーディオファイルをプレイできない

- ✓ ディスクが異常に汚れている。
- ➡ 「ディスクの取り扱い」(p7) を見て、ディスクをクリーニングしてください。

## オーディオファイル

### ? 曲がスキップする

- ✓ 対応していないオーディオファイルをプレイした。
- ➡ [www.kenwood.com/audiofile/](http://www.kenwood.com/audiofile/)を参照して、本機でプレイできるオーディオファイルに変換してください。

### ? オーディオファイルがプレイできない

- ✓ メニュー設定の“CD Read”項目を“2”に設定している。
- ➡ 「ファンクションコントロール」(p16) を見て、“CD Read”項目を“1”に設定してください。
- ✓ ディスクに傷や汚れがある。
- ➡ 「ディスクの取り扱い」(p7) を見て、ディスクをクリーニングしてください。

### ? 演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

- ✓ オーディオファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。
- ➡ —

### ? ミュージックサーチができない

- ✓ ランダムプレイをオンにしている。
- ➡ 「ファンクションコントロール」(p16) を見てランダムプレイをオフにしてください。

## サウンドエフェクト/サウンドセットアップ

### 2 サウンドエフェクト、サウンドセットアップで調整項目が表示されない項目がある

- ✓ 「オーディオセットアップ」(p38)の“2 ZONE”項目の設定で調整できる項目が変わります。

機能	OFF	ON
「オーディオコントロール」(p32)		
“REAR VOLUME”	×	○
“SUBWOOFER LEVEL”	○	×
“FADER”	○	×
「サブウーファー出カントロール」(p32)	○	×
「サウンドセットアップ」		
「キャビンの設定」(p39)	○	×
「スピーカーの設定」(p40)	○	×
「タイムアライメントの設定」(p40)	○	×
「クロスオーバーの設定」(p41)	○	×
「プリセットポジションの設定」(p34)	○	×
「マニュアルポジションの調整」(p34)	○	×
「dBイコライザー」(p32)	○	×
「dBイコライザープロの調整」(p33)	○	×
「ユーザーメモリーの登録」(p35)	○	×
「ユーザーメモリーの呼び出し」(p36)	○	×

- ✖ × : 調整できない機能

- ✓ 「スピーカーの設定」(p40)の設定で調整できなくなる機能があります。

“REAR”の“SIZE”項目を“None”に設定する

機能	項目
「タイムアライメントの設定」(p40)	“Rear”
「クロスオーバーの設定」(p41)	“Rear”
「マニュアルポジションの調整」(p34)	“REAR”

“SUB W”の“SIZE”項目を“None”に設定する

機能	項目
「サブウーファー出カントロール」(p32)	
「タイムアライメントの設定」(p40)	“SW”
「クロスオーバーの設定」(p41)	“Subwoofer”
「マニュアルポジションの調整」(p34)	“SUBWOOFER”
「オーディオコントロール」(p32)の「サブウーファーレベル」の調整	“SUBWOOFER LEVEL”

- ✓ 「スピーカーの設定」(p40)でサブウーファーの項目を調整できない。
- ✖ 「ファンクションコントロール」(p16)の“SWPRE”項目を“Sub-W”に設定します。

- ✓ 「オーディオコントロール」(p32)の“SUBWOOFER LEVEL”項目を調整できない。

- ✖ 下記のように設定します。

機能	設定
「オーディオセットアップ」(p38)の“2 ZONE”項目	“OFF”
「サブウーファー出カントロール」(p32)	“SUBWOOFER ON”
「スピーカーの設定」(p40)の“SUB W”項目	“None”以外に設定
「ファンクションコントロール」(p16)の“SWPRE”項目	“Sub-W”

- ✓ 「オーディオセットアップ」(p38)の“NAV VOLUME”項目を調整できない。

- ✖ 下記のように設定します。

機能	設定
「ファンクションコントロール」(p16)の“NAV Guide”項目	“INT”

- ✓ 「オーディオセットアップ」(p38)の“2 ZONE”項目を設定できない。

- ✖ iPodを接続していると設定できません。

## メニュー(MENU)

### 2 セキュリティコードを忘れた

- ✓ セキュリティコードを調べることはできません。
- ✖ ケンウッドサービスセンターにご相談ください。



## 共通

### AAC (エーエーシー)

正式名「Advanced Audio Coding」の略称です。デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。使用できるAAC収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? オーディオファイル」(p56)をご覧ください。

### KSF (ケイエスエフ)

外部接続された別売品のHDX-710などのハードディスクに記録されている音楽ファイルです。

### LX BUS TV モニター (エルエックスバステレビモニター)

外部接続された別売品のテレビモニターやナビゲーションシステム(HDX-710など)です。

### MP3 (エムピーシー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? オーディオファイル」(p56)をご覧ください。

### Music Editor メディア (ミュージックエディターメディア)

Music Editor で作成したUSBデバイスです。本機に付属のPCアプリケーションソフトウェアでプレイリスト機能などを追加できます。

### WMA (Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? オーディオファイル」(p56)をご覧ください。

### オフセットデュアルディファレンシャルD/Aシステム (Offset Dual Differential D/A System)

デジタル信号とオフセットした信号を作ります。フロント信号を左右別々のD/Aコンバーターで処理することにより、セパレーションが良く、ノイズ、歪みの少ないアナログ音声に変換できるシステムです。

### ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー(KDC-C520、KDC-C406など)やマルチメディアプレーヤー(VD-C77)です。

## サウンドエフェクト

### Supreme (サブリーム)

エンコードしたときに欠落してしまった高音域を、独自のアルゴリズムにより推定・補完する技術です。さらに、エンコード時に欠落した低音とボーカルの音声成分をも補完することで自然な音質を再現します。補完は圧縮フォーマット(AAC、MP3、またはWMA)別に最適化され、ビットレートに合わせて処理されます。

なお、オーディオファイルのフォーマットやエンコード時の設定の関係によっては、効果が分かりにくい場合があります。

また、音楽CDおよびiPodの音に対しても低音とボーカルの音声成分の補完を行います。

## オーディオコントロール

### REAR VOLUME (リア音量)

デュアルゾーン機能使用時の、リア側の音量を調整します。

### SUBWOOFER LEVEL (サブウーファー音量)

サブウーファーの音量を調整します。

## dB イコライザー、dB イコライザープロ

### BAND1 Effect (バンド1エフェクト)

この機能をONに設定すると、低音中心周波数より低域を増幅します。



### dB イコライザー (ダイナミックブーストイコライザー)

ジャンル別に設定された効果には以下のような特徴があります。

Natural: 自然な音を再現します。

Rock: スピーディーで力強いアタック音を再現します。

Pops: 中高域をメインにしたリズムカルな音を再現します。

Easy: 中低域をベースにした味わい深いサウンドを再現します。

Top40：ビートの利いた音を再現します。  
 Jazz：ウッドベースの音階やボーカルの質感を鮮明に再現します。  
 Game：ゲームの効果音をダイナミックに再現します。  
 iPod：iPod専用のイコライザーカーブを22種類の  
 中から選択できます。

## サウンドセットアップ

### DTA (デジタルタイムアライメント)

フロント、リア、サブウーファーから出力される音を遅延させることにより、スピーカーの位置を擬似的にずらすことができる機能です。車種やスピーカー取り付け位置にとらわれずに最適な効果が得られます。

## オーディオセットアップ

### 2 ZONE (デュアルゾーン)

デュアルゾーン機能とは、メインソースとサブソース(AUX入力)をフロントスピーカーとリアスピーカーに振り分けて出力する機能です。この機能のオン/オフを設定します。

- 内蔵AUX(サブソース)は、「ファンクションコントロール」(p16)の“Zone 2”項目で設定します。
- メインソースは「ソースを切り替えます」(p11)で設定します。
- フロントの音量はVOLで調整します。
- リアの音量は「オーディオコントロール」(p32)の“REAR VOLUME”またはリモートコントローラーのリア音量調整(p52)で調整します。

### NAV VOLUME (ナビ音量)

カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の音量を設定できます。

### VOLUME OFFSET (ボリュームオフセット)

各ソースごとの音量の差を調整します。  
 これにより、ソースを切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。

## クロスオーバーの設定

### Front FC/Rear FC (ハイパスフィルター)

設定された周波数(カットオフ周波数)よりも低い成分をカットします。  
 サブウーファーを追加するときに、この機能を使って、出力から低域成分をカットして高域のみの音にし

ます。“Through”に設定すると、この機能をオフにできます。

### Front SLOPE/Rear SLOPE (ハイパスフィルタースロープ設定)

Front FC/Rear FCで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。

1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。  
 スピーカーに応じたスロープ設定により、特に超低域をカットすることにより、音にならない不要な振動を抑制できます。

### SW FC (ローパスフィルター)

設定された周波数(カットオフ周波数)よりも高い成分をカットします。

サブウーファー出力をサブウーファー用として使用するとき、この機能を使って、出力から高域成分をカットして低域のみの音にします。“Through”に設定すると、この機能をオフにできます。

### SW SLOPE (ローパスフィルタースロープ設定)

SW FCで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。

1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。

### SW PHASE (サブウーファーフェイス)

サブウーファーの位相(正相/逆相)を設定します。

## メニュー(MENU)

### AMP (内蔵アンプ出力)

内蔵アンプの出力をオン/オフします。  
 フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“OFF”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。

内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクオリティをアップさせることができます。

### Beep (ビーブ)

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押し機能オンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

なお、ビーブ音はプリアウトからは出力されません。

**Built in AUX (内蔵 AUX 入力)**

AUX端子は、ポータブルオーディオやビデオ/ナビなどの外部機器の音声を本機に入力する端子です。

この機能は、内蔵AUX端子への音声入力をオン/オフします。

この機能をオンにすると、AUX端子から入力された音声を、AUXソースに切り替えることにより、本機で聴くことができます。

また、デュアルゾーン機能を使って、他のソースと同時に出力することもできます。

使用しないときはオフにしておいてください。

**CD Read (CD リード)**

CDの読み込み方法を設定します。

特殊なフォーマットのCDをプレイ時に、正常にプレイができない場合に“2”を設定すると強制的にCDをプレイすることができる機能です。なお、“2”に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合があります。また、“2”に設定するとオーディオファイルのプレイはできなくなります。通常は“1”でお使いください。

1：ディスクのプレイ時にオーディオファイルのディスクと音楽CDを自動的に識別します。

2：音楽CDとして強制的にプレイします。

**Contrast (コントラスト)**

ディスプレイのコントラストを調整します。

取り付け位置によってはディスプレイの文字が見えにくい場合があります。このようなときに調整してください。

**DISP DIM (ディスプレイ ディマー)**

車両のライトスイッチに連動して、ディスプレイの明るさが自動的に切り替わります。

イルミネーションの輝度を下げます。

AUTO：車両のライトスイッチに連動して減光します。

MNAL1：常時減光します。

MNAL2：MNAL1よりもさらに減光します。

OFF：減光しません。

**Display (ディスプレイ)**

本機の操作を5秒間行わないと、ディスプレイを消すことができます。これにより、車両ウィンドウへのディスプレイの写り込みを防ぐことができます。

ただし、各設定モード中などは5秒経過しても、ディスプレイは消えません。

下記の操作は、直接動作します。

ボリューム、アッテネーター、ソースの切り替え、ディスクの取り出し、USBリムーブモード、電源を切る

**DISP N/P (ディスプレイ反転、ボジ固定)**

ディスプレイの表示タイプをネガとボジとに切り替えます。また、ライトスイッチに連動して反転することも可能です。

POS11：文字をボジタイプで表示します。

POS12：車両のライトスイッチがオフのときは、文字をボジタイプで表示し、オンにするとネガタイプで表示します。

NEGA1：文字をネガタイプで表示します。

NEGA2：車両のライトスイッチがオフのときは、文字をネガタイプで表示し、オンにするとボジタイプで表示します。

**DSI (ディセーブルシステムインジケータ)**

セキュリティインジケータをオン/オフします。

この機能をオンにしておくこと、パネルを外したときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。

**HIGHWAY-SOUND (ハイウェイ サウンド)**

ロードノイズによってかき消される小さな音を大きくして、聞き取りやすくすると共に、消されがちな低音の強調をすることで、ロードノイズに負けぬ音になります。

**Illumi DIM (イルミネーション ディマー)**

イルミネーションの輝度を下げます。

AUTO：車両のライトスイッチに連動して減光します。

MNAL1：常時減光します。

MNAL2：MNAL1よりもさらに減光します。

OFF：減光しません。

**ILM Effect (イルミネーション エフェクト)**

本機の操作に連動してイルミネーションの色 (I-K70Vのみ) または輝度 (I-K70のみ) を変える演出効果を設定します。

OFF：演出効果がありません。

ON：本機を操作することに、色または輝度が変わります。

**ILM MSC SYNC (イルミネーション ミュージック シンク)**

音量に連動してイルミネーションの色 (I-K70Vのみ) または輝度 (I-K70のみ) を変える演出効果を設定します。

OFF：演出効果がありません。

ON：音量により色または輝度が変わります。

## MONO (モノラル設定)

この機能がFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

## NAV Guide (ナビガイド)

カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定することができます。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。

ATT：ナビ音声ガイド時は、オーディオの音を小さくします。

INT：ナビ音声ガイドをフロントスピーカーから出力します。

この機能を“INT”に設定して、ナビ音声ガイドの割り込みをする場合は、「接続」(p68)を参照して、AUX入力にナビゲーションシステムを接続してください。

ケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続してこの機能を使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオン、または「オーディオ接続設定」機能を設定してください。

また、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。

なお、この機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

## Scroll (スクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、グループタイトル、フォルダネーム、ファイルネーム、曲タイトル/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“Auto”に設定しておくときスクロール表示を繰り返し行い、“Manual”に設定しておくとき表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようにできます。

## Security Set (セキュリティコードセット) / Security Clear (セキュリティコードクリア)

セキュリティコードを設定/解除します。

セキュリティコードを設定しておくとき、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

## Seek Mode (チューニングモード)

放送局の探し方を設定することができます。

Auto1：受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

Auto2：メモリーされている放送局を番号順に受信します。

Manual：1ステップずつ周波数が変わります。

## Skip Search (スキップ設定)

iPodソース中の「ミュージックサーチ」(p24)で項目を移動する際のスキップする曲数は、現在選択しているリスト内総数の割合で決まります。

ここではスキップする割合を設定します。

## SWPRE (スイッチングプリアウト)

プリアウトをリア用出力(“REAR”)またはサブウーファア用出力(“SUB-W”)に切り替えます。

## SRC Select (ソースセレクト)

ソース(音源)を選択する操作方法を設定します。

操作方法は「ソースを切り替えます」(p11)をご覧ください。

1：ソースアイコンを表示して、コントロールノブでダイレクトに選ぶことができます。

2：ソースを順に切り替えて選択します。

## Zone 2 (ゾーン2)

デュアルゾーン機能がオンのときのサブソース(内蔵AUX入力)の出力先(フロントスピーカーまたはリアスピーカー)を設定します。

## カンジ ユウセン

CDテキストなどが漢字およびカタカナまたはローマ字で記録されているディスクを聴いているときに、これらを漢字で表示するか、カタカナまたはローマ字で表示するか設定ができます。

ON：漢字で表示(漢字が登録されていない場合は、カタカナまたは英/数文字で表示)

OFF：カタカナまたは英/数文字で表示

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

## Blank Disc :

演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていません。

## Copy Protection :

プレイしようとしたオーディオファイルは、コピープロテクトされています。

## Eject :

- ディスクマガジンがセットされていません。
- ディスクマガジンが完全に入っていません。  
など

## Error 05 :

ディスクが裏返しです。

## Error 12 :

演奏しようとしたMDがデータ用MDです。

## No Disc :

ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていません。

## No Track Disc :

演奏しようとしたMDに何も録音されていません。

## Read Error :

- 接続しているUSBデバイスのファイルシステムが破損している。
- ➔ USBデバイスのファイル、フォルダをコピーしなおしてください。その後もエラー表示が消えない場合は、USBデバイスをフォーマットするか、他のUSBデバイスを使用してください。

## TOC Error :

- ディスクが異常に汚れています。
- ディスクに傷が多く付いています。
- ディスクが裏返しになっています。

## Unsupported File :

サポートされていないフォーマットのオーディオファイルをプレイしようとしてしました。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

## CD-IN インジケーター (点滅) :

CDプレーヤーが正常に動作していない。

- ➔ CDを取り出してから、CDを入れなおしてください。

## DEMO Mode :

本機の機能をディスプレイに表示するデモンストレーションモード中です。解除するにはデモンストレーションモードをオフ (p47) にしてください。

## Error 77 :

何らかの原因で正常に動作していない。

- ➔ 本機のリセットボタンを押してください。“Error 77” の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

## Hold Error :

ディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。

- ➔ ディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてください。

## Load (点滅) :

ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。

## Mecha Error :

何らかの原因で正常に動作していない。

- ➔ [▲] (イジェクト) ボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

## N/A DEVICE :

- サポートされていないUSBデバイスが接続されました。
- ➔ リムーブモードにしないで取り外してください。サポートされているUSBデバイスについては「Help? オーディオファイル」(p56) を参照してください。
- サポートされていないiPodが接続されました。
- ➔ 接続しているiPodが接続可能なiPodか確認してください。接続可能なiPodについては「Help? オーディオファイル」(p56) を参照してください。

---

**No Device :**

USBデバイスが接続されていないときにUSBソースにした。

- ➔ USBソース以外のソースにした後、USBデバイスを接続し、再びUSBソースに切り替えてください。

---

**No Music Data または Error 15 :**

接続されているUSBデバイス内には、プレイできるフォーマットのオーディオファイルがありません。

---

**Protect (点滅) :**

スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシーに接触したために、保護回路が働きました。

- ➔ スピーカーコードを適切に配線/絶縁しなおしてから、リセットボタンを押してください。  
"Protect"表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

---

**Reading (点滅) :**

ディスクに収録されているデータのチェック中です。

---

**Security ---- :**

セキュリティコード入力要求表示です。

---

**USB Error :**

接続されているUSBデバイスに不具合が発生した可能性があります。

- ➔ USBデバイスを取り外し、電源を入れなおしてください。再度同じ表示がされる場合は、他のUSBデバイスをお使いください。

---

**iPod Error :**

iPodとの接続に不具合が発生しています。

- ➔ iPodをiPod接続ケーブルから取り外し、接続しなおしてください。
- ➔ iPodのソフトウェアを最新のものにアップデートしてから接続してください。

---

**USB REMOVE :**

USBデバイスがリムーブモードになっています。USBデバイスが安全に取り外せません。

# 取り付け時のご注意

## 警告



### 禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品は DC12V $\ominus$  アース車専用です。



### 実施

配線作業中は、バッテリーの  $\ominus$  端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



### 実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



### 禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



### 禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



### 実施

本製品を取り付けるときには、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。

また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



### 禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。





## 禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。



## 実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



## 実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本製品ヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本製品との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



## 実施

電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。



## 注意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



## 実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



## 注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



## 実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



## 注意

本製品は自動車のコンソールに設置してください。本製品を使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

# 接続



## 実施

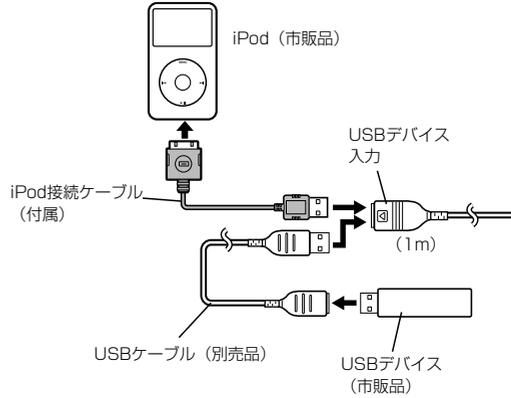
初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの ⊖ 端子を外してください。

1. エンジンキーを抜き、バッテリーの ⊖ 端子を外します。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの ⊖ 端子を接続します。
7. 電源をオンします。
8. 本機のリセットボタン (p6) を押します。



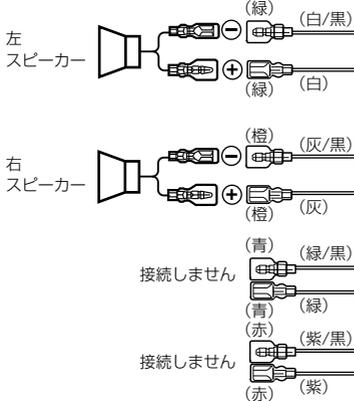
## 注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。



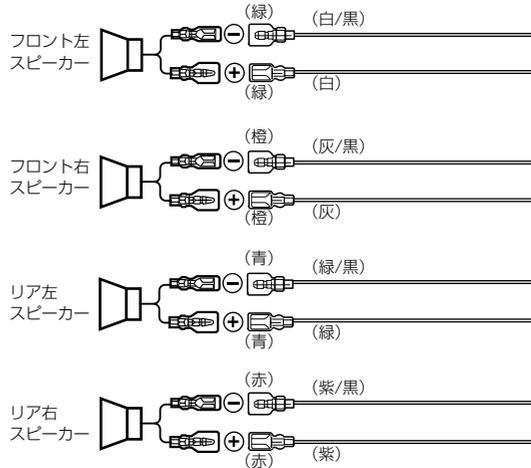
- USBケーブルを延長するときは、CA-U1EX（別売品）の使用を推奨します。
- USBケーブルを接続しないときは、キャップを外さないでください。コネクター部が車の金属部分に接触すると、本機の誤動作の原因になります。

## 2スピーカー時のスピーカー接続方法



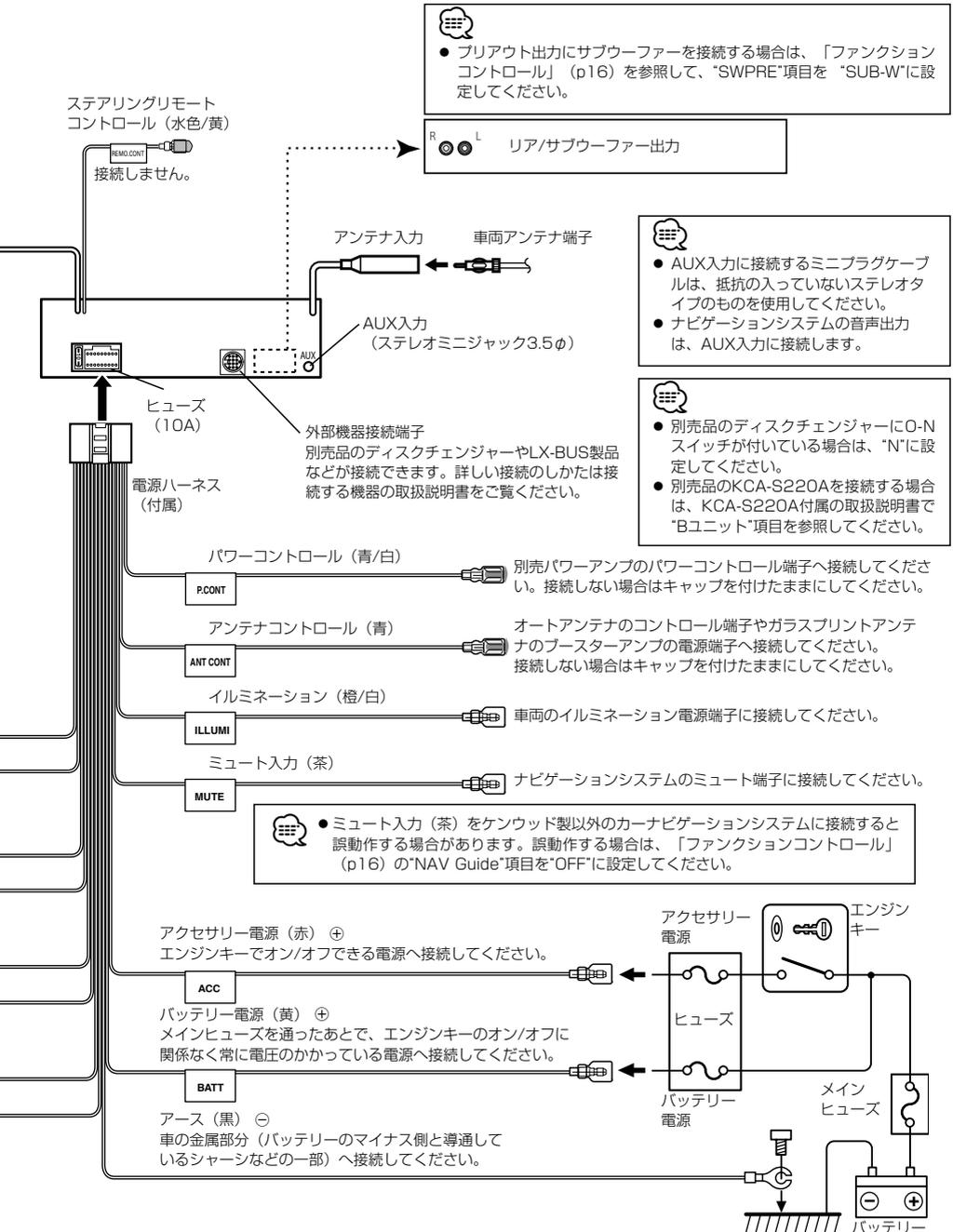
## 注意

接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。



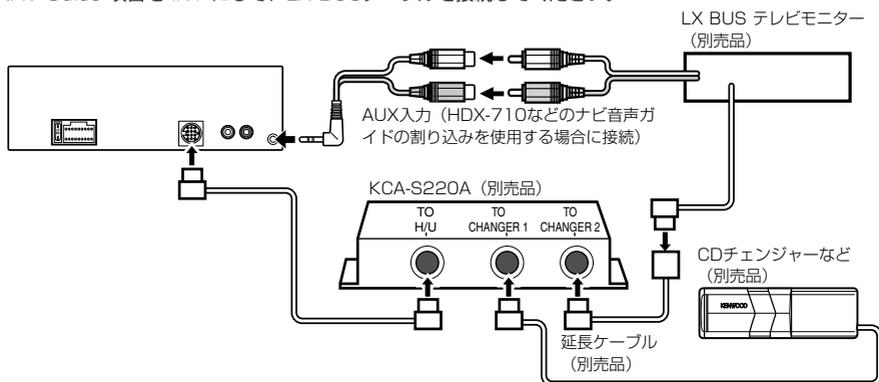
## 注意

- スピーカーコードの ⊕ ⊖ 端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの ⊖ 端子を共通にして接続しないでください。



## KCA-S220A (別売品) を使ってLX BUS テレビモニターを接続する場合

- LX BUS テレビモニターは、KCA-S220Aの"TO CHANGER2"端子に接続してください。
- HDX-710などでナビ音声ガイドの割り込みを行う場合は「ファンクションコントロール」(p16)の"NAV Guide"項目を"INT"にして、LX BUSケーブルを接続してください。



# 取り付け

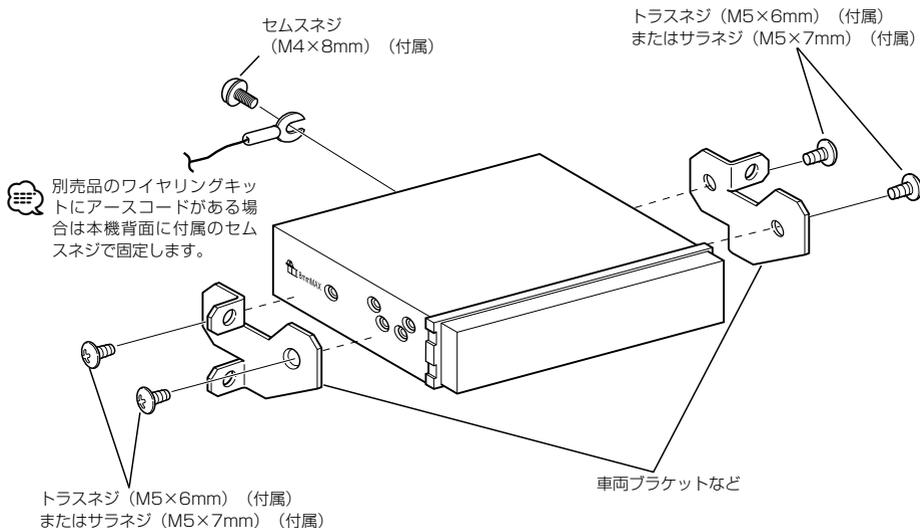
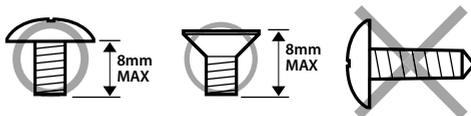
付属のトラスネジ (M5 × 6mm) またはサラネジ (M5 × 7mm) を 4 本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

付属ネジ	個数
 トラスネジ (M5 × 6 mm)	4
 サラネジ (M5 × 7 mm)	4
 セムスネジ (M4 × 8 mm)	1



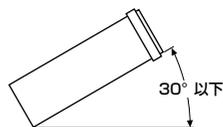
**注意**

取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。なお、取り付けネジはトラスネジまたはサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



**注意**

- 本機の取り付け角度は 30° 以下になるように取り付けてください。30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け / 取り外しをしないでください。破損することがあります。



- 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

# 仕様一覧

## FMチューナー部

- 受信周波数範囲 (周波数ステップ)  
: 76.0 MHz ~ 90.0 MHz (100 kHz)
- 実用感度 (S/N : 30 dB)  
: 9.3 dBf (0.8  $\mu$  V / 75  $\Omega$ )
- S/N 50 dB感度  
: 15.2 dBf (1.6  $\mu$  V / 75  $\Omega$ )
- 周波数特性 ( $\pm$ 3.0 dB)  
: 30 Hz ~ 15 kHz
- S/N比  
: 70 dB (MONO)
- 選択度 ( $\pm$ 400 kHz)  
: 80 dB 以上
- ステレオセパレーション  
: 40 dB (1 kHz)

## AMチューナー部

- 受信周波数範囲 (周波数ステップ)  
: 522 kHz ~ 1629 kHz (9 kHz)
- 感度  
: 28 dB  $\mu$  (25  $\mu$  V)

## CDプレーヤー部

- レーザーダイオード  
: GaAlAs
- デジタルフィルター(D/A)  
: 8倍オーバーサンプリング
- D/Aコンバーター  
: 24Bit
- 回転数  
: 500 ~ 200 rpm (線速度一定)
- ワウ&フラッター  
: 測定限界以下
- 周波数特性  
: 10 Hz ~ 20 kHz ( $\pm$  1 dB)
- 高調波歪率  
: 0.008 % (1 kHz)
- S/N比  
: 110 dB (1 kHz)
- ダイナミックレンジ  
: 93 dB
- MP3デコード  
: MPEG-1/2 Audio Layer-3 準拠
- WMAデコード  
: Windows Media™ Audio 準拠
- AACデコード  
: AAC-LC 形式 “.m4a” ファイル

**USB I/F部**

- USB規格  
: USB 1.1/2.0 (Full speed 対応)
- 最大供給電流  
: 500 mA
- ファイルシステム  
: FAT16/32
- MP3デコード  
: MPEG-1/2 Audio Layer-3 準拠
- WMAデコード  
: Windows Media™ Audio 準拠
- AACデコード  
: AAC-LC 形式 “.m4a” ファイル

**オーディオ部**

- 最大出力  
: 50 W × 4
- 定格出力  
: 30 W × 4 (4 Ω, 1kHz, 10%THD 以下)
- スピーカーインピーダンス  
: 4 ~ 8 Ω
- プリアウトレベル (CD/CD-CH)  
: 2500 mV/10 k Ω
- プリアウトインピーダンス  
: 600 Ω以下
- オーディオコントロール  
バンド1 : 60 Hz ± 9 dB  
バンド2 : 250 Hz ± 9 dB  
バンド3 : 1 kHz ± 9 dB  
バンド4 : 4 kHz ± 9 dB  
バンド5 : 16 kHz ± 9 dB

**AUX入力**

- 周波数特性  
: 20 Hz ~ 20 kHz (± 1 dB)
- 最大入力電圧  
: 1200 mV
- 入力インピーダンス  
: 10 k Ω

**電源部**

- 電源電圧  
: 14.4 V (11 ~ 16 V)
- 最大消費電流  
: 10 A

**寸法・質量**

- 埋込寸法 (W × H × D)  
: 178 × 50 × 163 mm
- 質量 (重さ)  
: 1.40 kg

**付属部品**

- 電源ハーネス  
: 1 本
- トラスネジ (M5 × 6 mm)  
: 4 本
- サラネジ (M5 × 7 mm)  
: 4 本
- セムスネジ (M4 × 8 mm)  
: 1 本
- リモコン  
: 1 個
- 乾電池  
: 2 個 (単3型)
- CD-ROM (Music Editor)  
: 1 枚
- iPod接続ケーブル  
: 1 本

## 保証について

### ● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。  
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### ● 保証期間

お買い上げの日より1年です。

## 修理を依頼されるときは

「Help? 故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

### ● 保証期間中は ...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

### ● 保証期間経過後は ...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

### ● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。

（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）

- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

### ● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。

技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

- 部品代：修理に使用した部品代です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。

## ケンウッド 全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、購入店がお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

### 北海道

札幌サービスセンター ☎ 007-0834 札幌市東区北34条東14丁目1-23 ☎ (011) 743-7740

### 東北

仙台サービスセンター ☎ 984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8-1 (斎喜センタービル1F) ☎ (022) 288-3538

### 関東・信越

さいたまサービスセンター ☎ 330-0801 さいたま市大宮区土手町1-2 (JA共済埼玉ビル1F) ☎ (048) 647-6818

千葉サービスセンター ☎ 277-0081 柏市富里1-2-1 ☎ (04) 7163-1441

横浜サービスセンター ☎ 226-8525 横浜市緑区白山1-16-2 ☎ (045) 939-6242

新潟サービスセンター ☎ 950-0923 新潟市中央区姥ヶ山1-5-37 ☎ (025) 287-7736

目黒サービスセンター ☎ 153-0042 目黒区青葉台3-17-9

(修理持込専用窓口) 電話でのお問い合わせは、カスタマーサポートセンター(裏表紙をご覧ください)にて承ります。

### 中部・甲州

名古屋サービスセンター ☎ 462-0861 名古屋市北区辻本通1-11 ☎ (052) 917-2550

静岡サービスセンター ☎ 420-0816 静岡市葵区沓谷5-61-1 ☎ (054) 262-8700

金沢サービスセンター ☎ 920-0036 金沢市元菊町21-87 ☎ (076) 265-5045

### 近畿・四国

大阪サービスセンター ☎ 532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22 ☎ (06) 6394-8075

高松サービスセンター ☎ 760-0068 高松市松島町3-1 ☎ (087) 835-2413

### 中国

広島サービスセンター ☎ 731-0137 広島市安佐南区山本1-8-23 ☎ (082) 832-2210

### 九州

福岡サービスセンター ☎ 815-0035 福岡市南区向野2-8-18 ☎ (092) 551-9755

鹿児島サービスセンター ☎ 890-0063 鹿児島市鴨池2-15-10 (パレス鴨池1F) ☎ (099) 251-6347

沖縄サービスセンター ☎ 901-2101 浦添市西原4-36-17 (株) 物流2F) ☎ (098) 874-9010

### ■ サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間 10:00～18:00 (土曜、日曜、祝日および当社休日とは休ませていただきます)

(各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。)



このシンボルマークはケンウッド  
において環境に対する影響を軽減  
した商品であることをお知らせす  
るマークです。

---

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114 (一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です)  
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8960

FAX 045-450-2287

住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。